2017

ブライダル科 シラバス

学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うことになります。 したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うことになります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダルコスチューム		担当者	柳瀬	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	1	曜日	金
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30			時限	1.2
授業の概要	ウエディングに関する男性・女性のドレスコードを把握しする。洋装・和装の幅広い知識の習得に努める座学。暗記も多くあるが対策を実施しシーンやお客様にふさわしい提案ができるようになる。							
学習目的	衣裳はブライダル業界において収益面も含め大きなウエイトを占める。ドレススタイリストの資格も取得し就職先で即戦力となれることを目指す。							
学習目標	男性のドレスコードがわかる。実際の形を見て何かが言える。ドレスシルエットの名称・素材の基礎的知識の習得確認のため２月に実施されるABCドレススタイリストの資格を取る。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	男性の洋装	メンズフォーマルのサイズ展開と採寸	
第2回	ウエディングドレス	主なシルエット・構造・スリーブ	
第3回	ウエディングドレス・小物	ドレスのサイズ展開と採寸・小物の合わせ方	
第4回	ウエディングドレスのスタイリング	素材やヘッドドレスなどとのマッチングについても学習する	確認問題
第5回	新婦の和装・種類	和装・小物の名称を覚える	
第6回	新婦の和装・種類	刺繍や織りなどの名称を理解する。	確認問題
第7回	新郎の和装	第一礼装としての名称を覚える	
第8回	カクテルドレス・2次会用ドレス	カクテルドレスのスタイリング	
第9回	列席者の衣装	両親・媒酌人・来賓のスタイリング	
第10回	プランナー検定2級問題	１月のプランナー検定を見据え総合的な学習を行う。	１２月半ば～
第11回	総復習	ウエディングドレスから列席者の衣裳についての知識の定着を図る	冬休み課題あり
第12回	過去問題練習	学校授業の単位認定にも該当する。（単位認定85点以上）	確認問題
第13回	採寸について	３人１組になり採寸の実施。記入用紙に手際よく必要事項を書き込む	
第14回	総復習	検定試験の確認を実施し復習をし実際の場面で提案できるようになる	
第15回	検定試験受検	検定日に受検する	試験日は指定のため授業日とは異なる

教科書	ABC検定テキスト　資料配布
参考書	過去問
成績評価	単位認定　期末試験（７０％）　確認問題3回分（３０％）の総合評価60点以上
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダル概論		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	人はなぜ結婚するのか？歴史や現代の結婚の形態や流れを数値的に学ぶ。さらには現在のブライダルセレモニーの様子をビデオ等も通じて興味を深めていく。ブライダル業界におけるビューティ関連の役割・重要性を知ることによって今後の職業観の成長を促す。プランニング・ドレス・料理・花・進行等のそれぞれの基本的なことをグループワーク等も交えて学習する。							
学習目的	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身につけ、人生の通過儀礼を滞りなく実行できる。							
学習目標	一般知識としてのブライダルに関する基本的な事柄について理解していることの目安としてプランナー検定3級問題の合格。ブライダル関連に興味を持ち意欲的に行動できるようになる。サービスマナーについても学習し日常生活の中で身につけるように心がける。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	人はなぜ結婚するのでしょう？一般知識として感情面や数値的な見地から調べてみよう。意見を出し合いまとめる	DVDゼグシィニュース
第2回	祝賀サービスの基本マナー	サービスの基本姿勢・動作・言葉使い等を習得する（お祝いの言葉・忌言葉）	
第3回	六輝について（冠婚葬祭って何？）	本日はお日柄もよく・・・って何のこと？結納などについても学習する	確認シート問題
第4回	現在のブライダルセレモニーの形態	一般的なブライダルセレモニーの流れを知ろう	ビデオ試写（キリスト教式）
第5回	お二人の門出を祝福	二人の要望やイメージしている結婚式の形を知るにはどうすればよいのか・・イメージの統一の大切さを知る。エクソサイスの実施：二人一組でインタビュー	
第6回	ビューティ関連との関わり(ドレス)	花嫁の夢をかなえる！最良の日を作る・・　3回にわたって学習する ドレス選び	ビデオ試写
第7回	ビューティ関連との関わり(ヘアメイク等)	2回目は花嫁のヘアやパーツにも触れる。	担当：
第8回	キリスト教結婚式	様々な形の結婚式について学ぶ。神前式・仏式・キリスト教式・人前式等	
第9回	ビューティ関連との関わり（ブライズエステ）	晴れの日に最高に輝くために	担当：
第10回	のしについて・神前式	のしとは何か？どんな意味があるのか？神前式の基本的な流れを学習。京都における神前式のあり方	ビデオ試写
第11回	和装について	衣裳について学習する。男性の紋服・女性の内かけ	担当：　　福井
第12回	披露宴コーディネイト（席次）	席次の重要性について理解する。適切な案内ができる。応接間・和室での席次においての実習を実施。円卓・流しテーブルの席次が問題用紙に正しく記入できる	確認問題
第13回	結婚に関わる法律と人生の通過儀礼について	結婚すると手続きは…は法的にはどのような事が起こるのか。、また一般教養として通過儀礼についても学習する。	
第14回	まとめ演習	これまで学習したことを一枚にまとめて発表(展示）	
第15回	試験	前期試験	

教科書	決定版　冠婚葬祭マナー事典
参考書	ゼグシィ・レイウエディング等　講師にて必要に応じて準備
成績評価	単位認定　60　　点以上　　試験70％・レポート・確認問題・課題制作物・20％・出席率10％
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	フードコーディネータ概論		担当者	中谷	学科	ブライタル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	月
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	フードコーディネーター教本をもとに料理サービスの基本を学習する。食の文化や科学・衛生及びテーブルコーディネイトやマナー・サービスの方法へと学習内容を広げていく。更に販売促進に一環として経営やメニュープランニングについても考査していく。							
学習目的	ブライダル業界における食の重要性を理解し企画・提案できる。快適な空間をテーブルコーディネイトなどを考慮して作り出すことができる。							
学習目標	入門書のテキストを学習し安全・衛生面での知識や宗教による食文化については簡潔に説明ができる。食空間と基本的なテーブルコーディネイトの提案ができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	食文化について	日本・中国・西洋料理の特徴が理解できる	
第2回	食品・食材の知識	肉・魚。豆類・野菜・きのこ・海藻について	
第3回	穀物・乳製品他	乳・穀物・酒（ドリンク）調味料・加工品について	
第4回	調理方法	調理の基本の解説	
第5回	器具	様々な器具の名称	確認問題
第6回	厨房機器	厨房のシステムと形態・食器洗浄・洗剤の基本	
第7回	栄養素について	栄養素の働き・6つの食品群	
第8回	食の安全	微生物と食中毒	
第9回	衛生対策	腐敗・品質表示制度について。食物アレルギー	確認問題
第10回	復習	第2回～第9回までの復習を実施し知識の定着を図る。	
第11回	食空間の作り方	テーブルコーディネイトの基本的理論・洋食のコーディネイトについて	
第12回	食空間の構成とマナーについて	和食・中国料理　それぞれのテーブルコーディネイトについて	
第13回	テーブルマナーとサービス	テーブル・サービスマナー・プロトコール・席次について	確認問題
第14回	メニュープランニングと食の企画・演出	メニュープランニングの方法・企画立案のコツ	
第15回	総まとめ	第1回～14回までを振り返り知識の再確認を行う	

教科書	フードコーディネーター教本
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　期末試験60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダル企業研究		担当者	植村	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	水
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30時間			時限	2

授業の概要	婚礼会場はどの様なところがあるのか。そこではどのような仕事があるのか。関連業種は？などについて調べる。9月のインターシップリテラシーも取り組んでいる。ブライダル業界をプレ・当日・新生活部分に分けてさまざまな角度から検討を検討を深める。
学習目的	ブライダル業界を調べることによって業界内のさまざまな職種を知る。またそこで求めらる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高める。最終的には自身の就職先を絞っていき、春休み以降の就職活動にスムーズに移行できるようにする。
学習目標	プランナーにとらわれることなく様々な業種を知り就職先の幅を広げる。具体的な就職希望先の条件・職種などを絞り込み　10社程度あげる。

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	マーケティングの必要性を理解する。	HR教室 入退室マナー
第2回	ブライダル業界調査Ⅰ（グループワーク）	どのような仕事があるのだろうか。多面的に探ってみる。 （グループワーク）	HR教室 入退室マナー
第3回	ブライダル業界調査Ⅱ（ワーク）	前回研究した業界の中で特に気になった所を更に深めて調べてまとめる。メモの取り方やまとめ方についても学習する。	PC教室（256）
第4回	ブライダル業界調査Ⅲ（ワーク）	プレゼンテーションについて「AIDMA」の法則を理解する 発表用資料作成（各自作業）	PC教室（256）
第5回	ブライダル業界調査　発表	各自が調べた業界調査を発表し情報を共有する。	PC教室（256）
第6回	マトリクスを使って自分に合う仕事を見つける	業界と業種を縦軸と横軸にとって図式化してみる。	PC教室（256）
第7回	業界内のプレの部分について考査①	もしも自分が〇〇業界の〇〇の仕事をすることになったら・・　ケース1ジュエリーショップ。	PC教室（256）
第8回	業界内のプレの部分について考査②→発表	ケース2：プレの中のお見合い事業や結納関連の職種の現在は、そして未来は・・・あなたがもしもその職種についたら何をしたいか。	HR教室 入退室マナー
第9回	業界内の 「当日に関わる」部分についての考査①	会場にはどんな職種があるか。その職種に就いた場合の給与や労働条件などを調べてみよう	PC教室（256）
第10回	業界内の 「当日に関わる」部分についての考査②	前回の求人票をもって互いに情報交換する。経済面からみて今後の世の中の情勢からみてどうか。また個人レベルでとらえるとどのような問題点があるかなど	PC教室（256）
第11回	業界内の 「当日に関わる」部分についての考査③	前回の問題点を加味して再度検索し調べてみる。視点を変えると見えてくるものを浮き彫りにする。	HR教室 入退室マナー
第12回	業界内の新生活部分についての考査	ハネムーン関連・新生活関連・マンション購入？これら新生活関連業種にはどのようなものがあるのか。検索してみる	PC教室（256）
第13回	企業講話	業界の現況及び仕事について	HR教室
第14回	マーケティング	今までで最も興味のあった業界についてマーケティングする。　10社程度リストアップする。	PC教室（256）
第15回	まとめとインターンに向けての心構え	これまでのまとめとその業界に求められる人物像などについて学ぶ。インターシップリテラシーの学習。 お礼状準備。	HR教室 入退室マナー

教科書	インターシップリテラシ
参考書	HP・経済誌・新聞・四季報・業界地図など
成績評価	単位認定　　60　　点以上　　エントリーシート（ブライダル業界）2枚以上提出
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ホスピタリティマインドコミュニケーション		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	金
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	おもてなしの心や人にやさしい気持ちってどんなものだろう・・・思いに寄り添って聞く・聴くという傾聴の方法や自分の思いを伝える方法を穏やかな気持ちになって学習していくことによって人として成長していく。理論的に学びエクソサイスやグループワークを通して相手の思いや自分の気持ちに気付き人として成長していく。レポート化することによって可視化していき深く見つめる機会を持つ。							
学習目的	ユニバーサルサービスの基本を知り日常的に実行できる人間になる							
学習目標	ホスピタリティの本質と実態を考察し、原点である相手のことを大切に思う気持ちを育て行動する事を理解し、実行できるようにする。また自身の生活に役立て人格形成を担い、就職活動にも繋げていく。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ユニバーサルサービスとは	テーマ：心のバリアフリーで京都観光のおもてなしへ～講演会聴講　講師：京都市みやこユニバーサルデザイン審議会委員　北見　貴志氏	
第2回	心に響くサービスのために	おもてなしの心とは。クレドについて。好感から満足へ、そして感動を与えるサービス。	相手との距離感
第3回	お客様の思いを受け止める	願い・希望をかなえるために何ができるだろうか。ホテル・ブライダルサービススタッフの求められるマインド。先輩たちはどのようなことをしてきたのだろうか。	チェックシート
第4回	対人関係学EQとは	コミュニケーション力ってそもそも何でしょう？多くの人とかかわることで伸びていくものです。自己と他者とのかかわりについてトレーニングします。	『課題：レポート』
第5回	対人関係学②	脳に良い関係を築き円滑な人間関係を築く。	
第6回	コミュニケーション①	ごあいさつ・基本の言葉かけ	PCルーム(11/19)
第7回	コミュニケーション②	案内をする。来館から打ち合わせ室へのご案内の演習。	チェックシート
第8回	コミュニケーション③	思いを上手く伝えるためにどうしたらよいだろう・・・表情やしぐさなど非言語コミュニケーションなども使い自分の好きなもの得意なことを伝えよう	『課題：レポート』
第9回	クリスマスに向けて	誰かを喜ばせるプレゼントをする。言葉・もの・・・・準備。　クラスに向けて・1年生に向けて・後輩（高校生に向けて）	
第10回	ユニバーサルサービスについて	個人で組織で地域で取り組むホスピタリティとは。ユニバーサルサービスを理解し自らリードしていけるよう実行する。	
第11回	ユニバーサルサービスの実践①	ハンディのある方などに対する配慮の方法の実践	身体介助の仕方
第12回	ユニバーサルサービスの実践②	車いすの構造と使用方法・手引きとは	身体介助の仕方
第13回	ユニバーサルサービスの実践①	目・耳のハンディへの配慮	身体介助の仕方
第14回	実践	課外学習	
第15回	ホスピタリティマインド休み前最終	これまでのまとめとして確認問題に取り組む	確認問題

教科書	ユニバーサルサービス
参考書	
成績評価	単位認定　　レジュメ記入・レポート（3回）・及び各単元での確認問題80%・チェックシート（3回分）20%
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ABC検定　Ⅰ		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	ABCブライダルプランナーテキストを使用しブライダル業界の基本的な仕事に必要な知識の習得。日本および海外のブライダルの基礎を網羅した学習内容。日本においては関連業種、海外においては宗教観の違いなども含め知識を深める。							
学習目的	ブライダル業界に必要とされる一般的な知識を習得し、配席表・進行表を含む基本的なプランニングシートが作成できるようになる。知識の習得の確認として1月に実施される全米ブライダルプランナー協会2級検定の合格を目指す。							
学習目標	反転授業（テクストの予習）の効果的な対策を習得する。ABC検定2級合格							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	欧米編	アメリカンウエディングとは宗教・人種などの特徴について ブライダルパーティの人々の名称について	確認クイズ
第2回		第4章本番　（聖職者・リハーサルウエディングについて	
第3回		3つの宗教について 第5章　本番レセプションについて	確認問題
第4回		第7章　宗教ウエディングについて　基本的な考え方としきたり	
第5回		宗教的な挙式　プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ・非宗教	過去問課題
第6回		第3章・第6章　準備とコンサルタントの役割	
第7回		英語での名称を覚える。ディストネーションウエディングやダンス・食事について・総復習40分	過去問課題
第8回	日本編（復習）	総復習40分　トレンドの確認　過去問課題に関する質疑応答	
第9回		六輝・熨斗などしきたりについて/日本のさまざまな仕事について	
第10回	総まとめ	日本・欧米共に宗教的部分を中心にまとめ学習をする	
第11回		トレンドの確認・業務（アメリカン）などを中心にまとめ学習をする	冬休み中の課題：過去問
第12回	直前集中授業	冬休み課題での問題解答・解説。総復習を実施し知識の定着を図る	
第13回			
第14回			
第15回	直前対策授業	ピンスポットで重点的に復習し明後日（17日）の検定試験に備える	

教科書	ABCプランナー検定協会テキスト
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上　　2級合格又は学内試験60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）・1/12～15日必要に応じて対策特別講座がある
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ABC検定　Ⅱ		担当者	渡辺	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	水
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30			時限	1
授業の概要	1年時に学習したABCブライダルプランナーテキストを使用しブライダル業界の実務部分を学習する。実際の業務に求められる能力を高めアシスタントブライダルプランナーの資格を得る。また12～15回には実務実践として、各自がプランニングシートを作成しエレガント又はキュートのテーマでチャペルを演出する。15回には完成披露を行う。							
学習目的	ブライダル業界に必要とされる一般的な知識を習得し、配席表・進行表を含む基本的なプランニングシートが作成できるようになる。就職にしっかりと繋げまたその先の業務にも生かしていく。							
学習目標	ABC検定1級合格（アシスタントブライダルプランナー認定）							

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	日本版①	確認：日本版について	
第2回	日本版②	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う	記述問題：課題
第3回	日本版③	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う	
第4回	日本版④	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う	
第5回	実務対策②	打ち合わせ実務について。プランニングシートへの落とし込みを外部業者への発注依頼の注意点。	記述問題：課題
第6回	欧米編	1年時に学習した欧米版の内容の総復習を行う	課題：過去問
第7回	欧米編	1年時に学習した欧米版の内容の総復習を行う	課題：過去問
第8回	検定記述対策	記述問題に対して。いくつかのパターンを事前に記述する。	
第9回	重点ポイント	最終確認、各自の課題を克服する	
第10回	検定最終対策	記述問題に対して。いくつかのパターンを事前に記述する。	7月初旬　プランナー1級検定
第11回	直前対策	2・3日後に控えた検定に対して総まとめとピンポイントに絞った	
第12回	テーマ（エレガント又はキュート）より	各自がテーマにそってプランニングシートを作成する。全員で相談しひとつを選び、13.14・15回においてチャペルを演出する。	
第13回	テーマに合わせる	テーマにそくしてチャペル実習室を演出する。最終回では発表を実施する。	
第14回			
第15回			

教科書	ABCブライダルテキスト（日本・欧米）
参考書	過去問
成績評価	単位認定　　点以上ABCブライダル検定1級合格　または学内試験60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）　ABC検定　1年次1単位修得が前提条件
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダルサービスⅠ		担当者	渡辺	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	2	学年	1	曜日	金
	ブライダル分野（実習）		（時間）	60			時限	1.2
授業の概要	一部ブライダル業界で現在活躍中の方を講師に迎え講話を受ける。また、ブライダル施設などの見学実習も行い、段階を踏んで興味を喚起し業務を行うための実践的な内容へと進んでいく。またブライダル業界に求められる資質の確立、資格取得に向けた対策なども含まれる。今後様々なプランニングを実施する基礎的なイメージを高められる授業である。							
学習目的	就職先にて求められる基礎的知識の習得により後期のインターシップや就活につなげ確実にブライダル業界に進む。							
学習目標	企業講話や見学などを通じて業界が求める人間像を明確に意識し自分が近づけるよう授業に取り組むことができる。簡単な進行表・基本的な席次表の作成ができる。スタンダードなカップルケースの打ち合わせの時期・必要内容が理解できる。主な宗教式の進行が理解できる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
1	ブライダルで何を習得するのか	まずは優しい心・・・サービスって何？ユニバーサルサービスとホスピタリティ	
2	ブライダル業界に求められる人物像とは		
3	お客様へのおもてなしの重要性 来客・案内・誘導	もしも・・こんなシーンに遭遇したら対応はどうすべきか。グループワークを通じて実習する。廊下を歩く。階段は？	
4	挙式を見る	ビデオの確認・2年生の実行を見学する。気づきや感想を語りあう。	課題レポート宿題①
5	基本的なスケジュールの確認	当日までにすべきことの説明（初回カウンセリング）	PC室使用確認
6	ブライダル施設見学実習	ウエディング会場を楽しもう	外出：移動あり・事前打ち合わせのこと 課題レポート②
7	イメージの統一とチームワークの重要性	花・音響・照明・サービス・司会者等の関連スタッフの話	
8	3～2か月前に行うこと	様々な打ち合わせについて	打合せシート・ビデオ・見本帳等
9	ホテルブライダルの魅力について①	セミナー	
10	ドレススタイリストからのご提案	花嫁様の最高の笑顔のためにトータルにコーディネイトを提案する	
11	ホテルブライダルの魅力について②	打ち合わせた内容を漏れなくミスなく・・・席次表ペーパ＝アイテムの作成・のし・電話の仕方演習	
12	※各自ウエディング会場の見学	案内した期間に各自ホテルなどの模擬挙式やロビーウエディングを見学することで1コマ。発表にて1コマとする。	写真やイラスト・パンフなどを用いて報告書を作成するA4レポート用紙3枚程度。
13	プランニングの楽しさ・大変さ（ワークショップ）	インターンシップを見据えて様々な仕事のポイント等について	課題：
14	会場セッティング・サービスの実践	会場実習・婚礼フェアのスタンバイ状態から学びとる多くの事	※日程は土・日の可能性有（詳細後日） 課題レポート③
15	まとめ		

教科書	ABCプランナー検定協会テキスト　日本版中心に使用（欧米版の一部ある）
参考書	各講師にて準備のレジュメ等
成績評価	単位認定　　課題レポート（3回）50%と・各講師の準備の記入シート40%・出席率10%の総合評価　60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダルサービスⅡ		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	2	曜日	水
	ブライダル分野（実習）		(時間)	30			時限	1
授業の概要	ブライダル施設などの見学実習などで学習したことを踏んで興味を喚起し業務を行うための実践的な内容へと進んでいく。またブライダル業界に求められる資質の確立。今後様々なプランニングを実施する基礎的なイメージを高められる授業である。							
学習目的	就職先にて求められる基礎的知識の習得。ブライダル業界にて遭遇しうる様々なケースについて対処できるように学習する。							
学習目標	ブライダルサービスⅠで学習した内容を更に深め、知識及び技術の研鑽に努めていく。							

授 業 計 画

回	主 題		備考
1	ガイダンス	自分の就職活動のついて報告しあい、そこで求められるサービスについて考えてみる	グループワーク
2	ワンランク上のサービスとは	サービス接遇とは　問題にチャレンジ	
3	ワンランク上のサービスとは	サービス接遇とは　問題にチャレンジ	
4	プランナーコンテストDVDの鑑賞	プランナーコンテストDVD鑑賞	
5	会話・カウンセリングの実践	ケーススタディ（授かり婚）メンタルサポートや対応について	
6	会話・カウンセリングの実践	ケーススタディ（再婚式）メンタルサポートや対応について	
7	プランニング　①	ケース（子供が誕生してから）結婚氏を上げる場合の挙式を計画する（ベビー）	課題：プランニングシート
8	発表（プレゼン）	前回計画した内容を発表、プレゼンする　子供（ベビーケース）　コンテスト形式をして良いものをみんなで決め次回実施する。	
9	実践　①	前回計画した内容を実施。子供（ベビーケース）	
10	プランニング　②	ケース（子供が誕生してから）結婚氏を上げる場合の挙式を計画する（キッズ）	課題：プランニングシート
11	発表（プレゼン）	前回計画した内容を発表、プレゼンする　子供（キッズケース）　コンテスト形式をして良いものをみんなで決め次回実施する。	
12	実践　②	子供の年齢を変更して（キッズケース）　音楽・進行など対象に合わせる	
13	チェックシートに従って	打ち合わせた内容を漏れなくミスなく・・・席次表ペーパ＝アイテムの作成など　肩書き・伯父・叔父など	
14	まとめ	これまで学習したことをまとめる。	PC室使用確認
15	まとめ	前回作成した書類を発表。総まとめを実施。	

教科書	ABCプランナー検定協会テキスト　日本版中心に使用（欧米版の一部ある）
参考書	
成績評価	単位認定　　課題レポート（3回）50%と・授業への取り組み50%との総合評価　60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	セレモニープロデュースⅠ		担当者	小河	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	2	学年	1	曜日	金
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	3.4
授業の概要	ブライダル業界にとって大きなうえいとを占めるチャペル挙式の内容をしっかりと理解し、計画実行する。５月OC時にチャペル挙式実施。また、後期は人前式にも取り組む。グループワークにて実施。2月末頃に外部お客様を招いて披露できるレベルになる。							
学習目的	チャペル挙式を役割分担して実行することができる							
学習目標	基本的なチャペル挙式の流れを知り進行表（式次第）の作成ができる。必要な準備（人・もの）ができる。基本的な人前式をプランニング、実行することができる							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	挙式セレモニーとは何か	キリスト教の考えを知るチャペルウエディングでの賛美歌の意味とは。担当教員の賛美歌を聴く。基本的な進行を知る	
第2回	必要な人・もの	挙式で歌われる312番・351番（二人があいて）の歌詞の意味を考え、歌の練習を行う 音楽室への移動あり。ピアノ奏者希望の者がいれば担当することも可能。	2チーム
第3回	実施に向けて②		
第4回	実施に向けて③	アーメンコーラス（パートを決めハモる）。アーメンの意味とは何か。挙式でのお祝いの賛美について理解する。	
第5回	実施に向けて④	讃美歌練習の最終日はニミ発表会を行う。	
第6回	実施に向けて⑤	披露(ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ)ﾉ為に説明ﾅﾚｰｼｮﾝ要員を設ける。業務上必要になってくるため全員ができるように意識持ってレクチャーを受ける。	
第7回	実施に向けて⑥	祝歌の練習・入退場シーンの説明の実施	
第8回	セレモニーの実践	後半に向けての説明。基本的な形態を（進行）についての説明	
第9回	挙式を執り行うために	基本的な形態で実施するための準備。プランニングを行う。教員より、シチエーションA/Bが出されるのでそのテーマに沿ったプランニングを行う。。	
第10回	実践に向けて意見交換	音楽・照明・進行・案内スタッフ・キャプテンの動きを知る	
第11回	挙式の実施②	チームでの練習を重ね音楽や人前式ならではのオリジナルなアイデアを出し合いプランニング実行する	
第12回	ゴスベル	ゴスベルの練習（ハッピーソングを全員で歌う）	
第13回			
第14回	挙式に実施	更に練習を行い完成度をあげていく	
第15回	招待客に向けて実行する	第9回～14回で学習した挙式を実行する	7月28日模擬挙式予定

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　参加態度・担当教員のチェックリストによる評価点(70%)2回の実施時の参加者（招待者）による3段階評価点による（30%）。総合評価60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	招待者への事前案内要・日程等詳細要確認の事

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	セレモニープロデュースⅡ		担当者	小河	学科	ブライタル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	1	曜日	金
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	3・4
授業の概要	晩秋にゴスペルの練習発表のパーティを実施。また最終的には前期に引き続いて後期では外部の列席者を迎え、学生がプランニングし実行するセレモニーに向けて準備を進めていく。							
学習目的	人前挙式を役割分担して実行することができる							
学習目標	基本的なチャペル挙式の流れを知り進行表（式次第）の作成ができる。必要な準備（人・もの）ができる。基本的な人前式をプランニング、実行することができる							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	①コンセプト	イメージの相談を行い可視化していく	ボードに作成：雑誌・はさみ・ノリ等
第2回	②イメージの統一	全員がイメージを統一することでゴールとなるシーンに近づける	
第3回	③役割を決める	リーダー以下必要な役割を決める	
第4回	実践に向けて	①進行プログラム・飾り・ドレス等を持ち寄る	
第5回	制作物の準備	プログラムの作成・小物等の作成	印刷物など挙げる
第6回	制作物の準備	制作物の完成度を上げていく	リーダー予定表を上げていく
第7回	クリスマスコンサートの準備	チャペルコンサートに向けてクリスマス賛美歌（グローリア）・ゴスペルの練習を2回連続で行う	小河講師 音楽室・チャペル
第8回	クリスマスコンサートの準備	チャペルコンサートに向けてクリスマス賛美歌（グローリア）・ゴスペルの練習を2回連続で行う。奏者担当は個別での練習も重ねる。冒頭5分間は案内状の送付作業を全員で行う。	小河講師　レポート① 音楽室・チャペル
第9回	クリスマス装花・イベントのリハーサル	クリスマスや明るさ楽しさをイメージしたカップやボードなどを創作する。簡単なテクニックを覚えセンスがある作品を作る	OCにて発表を実施
第10回	人前式の実施①	決めた日程に従って準備を進める・MC等全面メンバーによるシュミレーション	
第11回	人前式の実施②	役割に従って必要なもの等もチェックして準備・同時に各セクションの練習を行う	
第12回	人前式の実施③	完成度を上げる	
第13回	人前式の実施④	リハーサル実施・部屋の装飾等	
第14回	人前式の実施⑤	最高のおもてなしができるように最終準備	
第15回	招待客に向けて実行する	第9回～14回で学習した人前式を実行する	日程は調整（2月半ば頃予定）

教科書		
参考書		
成績評価	単位認定	参加態度・担当教員のチェックリストによる評価点（70%）2回の実施時の参加者（招待者）による3段階評価点による（30%）。総合評価60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）	
オフィス・アワー	授業終了後	

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	レストランサービス		担当者		学科	ブライダル	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	２年	曜日	水
	ブライダル分野(実習)		(時間)	30			時限	3.4

授業の概要	ビジネスや日常生活におけるしきたりやマナーについて、その必要性、基本を学び、視覚教材（ビデオ、ＤＶＤ、ＴＶ等）を利用し、それらのマナーが実際にどのように生かされているかを知り、シミュレーションや実務作業を通して単なる知識ではなく応用展開が可能な能力をつけられるように授業を進める。 ホテル様にご協力を頂き実習を行う。一般のお客様へのサービスも実施する実践的な授業。また最終回にはランチサービスを実行する。
学習目的	レストランサービスに携わるプロフェッショナルとして身につけるべき基本事項を学び、お客様にレストランの料理だけでなく、ホスピタリティーに感動していただくための技能・技術を身につける。
学習目標	１．社会人としてビジネスシーンにおける業務遂行を円滑にするためのマナーを学ぶ。 ２．ビジネスに必須な手紙、メール、ファックスなどのビジネス文書の基本を身につける。 ２．人間関係をスムーズにするための日常のあらゆるシーンや、冠婚葬祭の時に役に立つマナーについて基本的な知識を得る。

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	レストランの基礎知識(1) レストランの組織	レストランでは、様々な役割を持つ人が適切に配置されて、指示・命令系統が明確になるよう組織化されている。各担当の業務内容を理解し、チームワークの大切さを学ぶ。	スマホ
第2回	レストランの基礎知識(2) 接客の基本	身だしなみ、基本の姿勢と動作、接客用語等、接客するための基本を学ぶ。	スマホ
第3回	レストランの基礎知識(3) 西洋料理の食器・備品	西洋料理で使用される食器類(銀器類・陶磁器類・グラス類）の取り扱いと管理、カストラリーやリネンなどを学ぶ	
第4回	課外実習 （報告レポート提出）	開店前の準備・点検、テーブルセッティングの基礎技術を学ぶ お出迎えからお見送り、皿やサービストレイの運び方、ワゴンサービスなどの知識と技術を学ぶ。	アランベールホテル様にて実習 （５月半ば）
第6回	レストランの基礎知識(6) 代表的なサービス形式	フランス、イギリス、ロシア、アメリカなどのサービス形式の違いと基礎知識（１）から（５）で学んだ技術を実践してみる。	スマホ
第7回	レストランサービスの基本(1) 食前酒・前菜	食前酒の種類、カクテルの基礎知識、前菜の基礎知識とカービングについて学ぶ。	
第8回 第9回	課外実習 （報告レポート提出）	１コーヒー・紅茶に基礎的知識を学び、技術を実践してみる お客様が朝食をとるためにレストランの入り口に来ていると想定して、朝食のサービスをシミュレーションしてみる。	アランベールホテル様にて実習 ６月予定
第10回	サービスのトレーニング(2) ランチのサービス	お客様がランチをとるためにレストランの入り口に来ていると想定して、ランチのサービスをシミュレーションしてみる。	
第11回	課外実習 （報告レポート提出）	レストランサービスの基本(2) スープとワイン レストランサービスの基本(3) 魚料理と肉料理	アランベールホテル様にて実習 日程未定
第12回		フルコースにおける魚料理、肉料理についての基礎知識、肉塊の切り分け、ステーキ、ソースなどを学ぶ。	
第13回 第14回	課外実習 （報告レポート提出）	実際にレストランにてお客様に（YIC職員など）レストランサービスを行う。	
第15回	レストランサービスのまとめ	報告レポートの発表及び研修で得たことなどを発表し検証する	

教科書	レストランサービス トレーニングマニュアル
参考書	
成績評価	単位認定 60 点以上　テキストのチェックリスト３５点満点（アランベールホテル様担当・YIC関係者にて確認）・レポート・授業態度１５点を加算し（50点満点）の60%以上
履修のポイント	課外実習先では指導担当者の指示に従うこと。清潔を徹底し、節度ある姿勢で臨むこと。
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	フラワーコーディネイトⅠ		担当者	染川	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネイトするセンスが問われます。演習に欠かせないフラワーアレンジメントの基本の実践と最新のテクニックを学びシーンに花のセレクトや個性の表現を磨きます。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。							
学習目的	シーンやドレスに合ったブーケの提案ができる。イメージに合わせたテーブル装花の提案ができ実践的な場所にて生かしていく。							
学習目標	ブライダルシーンで使用されることの多い花の種類・季節などの基本的な知識の習得。ブーケのスタイルとドレスとのマッチングの提案ができる。アレンジの基本的な技術の習得。終了後、フラワーコーディネイト3級の資格取得する。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	卓上装花（テーブル花① ラウンド）	花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習	
第2回	ブーケ①ラウンド（チュールの作り方）	ブーケの種類・ブーケの花材・ドレスとブーケのバランス ブーケの用具・ブーケの制作実習	
第3回	ブートニア（リボンの作り方）	ブートニアの意味・ワイヤリング・テーピングの手法 ブートニアの制作実習	
第4回	受付花（母の日プードル）	母の日用のアレンジメント・カーネーションでプードルを制作実習	
第5回	ヘアオーナメント	ヘアオーナメントの種類・花選び・ワイヤリング・テーピング の手法・ヘアオーナメントの制作実習	
第6回	ケーキ花（180度のデザイン）	ウェディングに必要な装花を学ぶ・ケーキと一体感のある フラワーアレンジメント実習	
第7回	卓上装花（テーブル花② ホリゾンタル）	テーブル花の種類・卓上装花の制作実習	
第8回	ブーケ②（束ねるブーケ）	ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習	
第9回	メインテーブルのアレンジメント	ウェディングの装花の種類・デモストレーション形式の実習	
第10回	季節の花（春夏秋冬）和のアレンジ	和装ウェディングの実習・水引きを使う	
第11回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーのワイヤリング・テーピングの手法	
第12回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーでブーケの制作実習	
第13回	ウエルカムボード	プリザーブドフラワーでウエルカムボードの制作実習 ブーケのデザイン画・ラフ画実習	
第14回	ウェディング会場を作製	アートフィッシャルフラワーでオリジナルウェディングの制作	
第15回	ウェディング会場を作製	卓上装花・メインテーブル・ブーケ等ウェディング全ての フラワーコーディネイト制作実習	

教科書	検定テキスト
参考書	講師配布資料
成績評価	単位認定 60 点以上 授業中における作品の提出総合評価・フラワー検定受験は必須とする
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	演出クリエイティブ		担当者	平崎・山内	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1	曜日	火
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	3・4
授業の概要	様々なシチエーションでのスタッフの役割を理解し、挙式セレモニーやウエディングパーティの演出効果として大きなウエイトを占める音楽や照明について学ぶ。イベントプロディースと連動し演者・音響・照明（スポット）の3つができるようになる。授業としての発表を夏休み中に行うが、今後も様々なイベントに参加していくベースである。歌・音響・照明の各講師がプロのテクニックを教える。							
学習目的	ブライダル業界で働く際にスタッフとして音響などの業務に携わることができる。イベントなどを実行する際、効果をイメージでき提案することができる。							
学習目標	スポットライトの使い方が理解できる。照明による効果的な演出ができる。マイクのセッティングができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	音響の効果	音響設備の基本操作を実施する。入場シーンの音楽をタイミングを合わせてかける練習を行う。好きな歌は何？	7Fスタジオにて実施
第2回	音響・照明のデモストレーション	照明による効果デモストレーションを見よう。プロ技にかかれば心沸き立つシーンを作り出せる。	
第3回	音響・照明　2	基本の操作を練習　　2つのグループに分かれる	
第4回			
第5回	音響・照明　3	前回の基本操作を踏まえ、ステージを作ってみる。照明スタッフとステージ出演のグループを入れ替えて互いに実行する。	音楽の準備をして次回に臨む
第6回			
第7回	ステージイベントの計画	ブライダルシーンにふさわしいステージイベントを計画してみよう。	7月半ばに実施予定
第8回	音響・照明　4	夏に実施予定のショーを想定した具体的なシーンの練習を行う	
第9回	音響・照明　5	完成度をあげる。イベントの内容に沿った照明のタイミングや技法を学ぶ。	ステージショウに向けて
第10回			
第11回			
第12回	音響・照明　（披露宴会場）6	完成したステージを披露する。※日程変更の可能性あり	
第13回			
第14回	ステージイベントの実行	オープンキャンパス時に実行する	7半ば～末に実施予定
第15回			

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　　60　　点以上　　授業への参加態度（70%）照明・音響設備の操作ができる（10%）だい14・15回の実行時において教職員3名による0～10点加算。出席率10%　総合評価60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	インターシップⅠ・Ⅱ		担当者	植村・担任	学科	ブライダル科	開講期	集中
区分	必須科目		単位	２単位２単位	学年	1年	曜日	
	ブライダル分野（実習）		(時間)	60			時限	

授業の概要	ブライダル業界研究で学んでいることを参考にしインターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、インターンシップに参加する前提として，インターンシップの目的，参加の心構え，ビジネスマナー講習などを中心に，事前準備学習を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ，インターンシップ報告書を作成する。交通費等の費用は原則自己負担である。
学習目的	自分自身の視点から調査・分析出来る能力を身につけ、就職につなげる。自己の職業適性や将来設計について考える機会を得ることにより、高い職業意識の育成を計るとともに、自ら職業選択の明確な基準軸を養成する
学習目標	現場などで働きながら実務についての知識や経験を積む実務教育。報酬はないが，学内の勉学だけでは得られない体験ができ，現場での就業・実務体験を通して、働くことの意義、働くための資質等を理解し、将来の進路選択に資する経験・見識をつかむ。また、責任感、時間厳守、守秘義務など社会でのルールとして守るべき事項を認識する。 ① 自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識が育成する。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲が向上する。 ③ 人間性（思いやり、公共心、倫理観）を高め、基本的な生活習慣を身に付ける。

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的，参加の心構え，ビジネスマナー講習などを中心に，事前準備学習を行なう。	6月上旬
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整	7月上旬
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする	7月中旬
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）	9月1日～28日の間（14日間を予定） 受け入れ企業との日程調整の上１４日間インターンシップを行う
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また，体験報告をレポートにまとめ，インターンシップ報告書を作成する。	
第15回			

教科書	インターンシップリテラシー
参考書	特にありません
成績評価	事前研修及び研修状況（50%），研修後のレポート及び報告会（50%）で評価する。レポートでは，インターンシップを通じてその業界で活躍するために身につけなければならないことについて報告させる。定期試験は無し
履修のポイント	インターンシップはキャリア教育科目である。社会人としてのマナーが厳しく問われる。欠席・遅刻、早退は論外である。自覚して臨んでほしい。
オフィス・アワー	

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビジネススキルアップⅠ		担当者	金森	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	木
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	3
授業の概要	マナーは形式を学ぶことではなく、「思いやり」の気持を表現する方法論のひとつです。その本質を理解した上で、よりよい表現方法を実践を通して学び、大人の女性としての基盤を作ります。							
学習目的	人間としての「思いやり」の精神を、マナーという形で表現できるようになります。自分を高めることと同時に、他者の幸せを創り上げる仕事につくという意識のたかい女性へと成長することが目的です。							
学習目標	①思いやりの心をビジネスマナーを通して表現できるようになる　②他者理解を深めると同時に自己表現を豊かにし、コミュニケーション力を向上させる							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	マナーの重要性を知る	ディスカッションを通してなぜマナーが大切かを学ぶ	
第2回	挨拶と表情管理	相手に好感を持たれるあいさつと豊かな表情づくりを、実践を通して体得する	
第3回	美しい言葉づかい1	敬語の種類と正しい敬語の使い方を学ぶ	
第4回	美しい言葉づかい2	相手に好印象を与える、クッション言葉あらゆる依頼の仕方を実践を通して体得する	
第5回	電話応対1	電話応対に必要な要素と、受け方かけ方の基本形を学ぶ	
第6回	電話応対2	不在応対やクレーム対応を事例から学ぶ	
第7回	印象に残る立ち振る舞い	姿勢、立ち方、歩き方などビジネスにふさわしく相手に好感を与える所作の習得	
第8回	来客応対1	受付からご案内までの基本応対をロールプレイを通して身につける	
第9回	来客応対2	名刺交換、席次、お茶の接待など、来客応対に欠かせないスキルを習得する	
第10回	信頼を得るための会話の技術1	相手に信頼していただける話の聴き方トレーニング	
第11回	信頼を得るための会話の技術2	心が伝わる話し方と、論理的に分かりやすく伝えるスキルを習得する	
第12回	ビジネス文書	文書の基礎基本を学び、分かりやすく簡潔な文書作成の方法を学ぶ	
第13回	ビジネスEメール	Eメールのマナー、文書構造、メールの注意点を学ぶ	
第14回	総合確認	総合ロールプレイを通して、マナー習得の再確認をし、発表に備える	
第15回	成果発表	成果発表：総合ロールプレイを発表する。自らの課題を確認し今後に活かす	

教科書	ビジネス検定テキスト・コミュニケーション上級
参考書	電話検定テキスト
成績評価	単位認定　60　点以上　定期試験50%・電話検定合格30%・授業内レジュメ・レポート等10%・出席率10%
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）　授業への取り組み姿勢を重視する
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビジネススキルアップⅡ	担当者	鶴田	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目	単位	1	学年	1．2年	曜日	月
	ビジネス分野（講義）	(時間)	30時間			時限	3

授業の概要	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事はどのような内容かといったことを中心に、速やかに適応するための基礎的な知識やスキルを学ぶ。
目的	社会人に必要なビジネス文の理解・作成ができる。新聞記事やデータを読み取ることができ、自身の意見などを記述できる。課題への取り組みや自ら進んで日常生活の中で自学することを習慣化する。
学習目標	ビジネス能力検定3級合格を念頭に置き、社会人になると自己管理や働く目的を持つ必要があることなど、自分の役割を把握して仕事に臨む姿勢を醸成する。

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	仕事は正確かつ計画的に	定められた定型業務の手順について学ぶ。	
第2回	定型業務とマニュアル	『定型業務』と『非定型業務』の分類をし、効果的な働き方を学ぶ。	
第3回	効率的・合理的な仕事の進め方	仕事を進める上で、仕事の目的を知るとともに、留意すべき点を学ぶ。	
第4回	会社組織	組織のしくみとシステムの基本的知識を身に付ける。	
第5回	会社の存在意識と株式会社の特徴	会社が存続し発展していくための役割について学ぶ。	
第6回	電子メールの活用と書き方①	電子メールの特徴と発信時の注意点、実際の書き方について学ぶ。	
第7回	IT時代のビジネスセンスと個人情報の保護	インターネットの発達と同時に、企業で注意を払っている個人情報保護についての知識をつける。	
第8回	ビジネス文書の意義と書き方	いま必要とされている文書作成能力を向上するために書き方を学ぶ。	
第9回	社内文書の特徴と基本型	基本的な社内文書の書き方と、基本型を学び、さまざまな種類を知り、理解する。	
第10回	報告書の書き方	報告書の種類や内容など、ケースに合わせて必要になってくる書き方を学ぶ。	
第11回	社外文書の特徴と基本構成	社外文書にはどんな種類があり、どんな場面で使用するのかを知り、書き方を知る。	
第12回	社外文書の種類と作成例	社外文書にはどんな種類があり、どんな場面で使用するのかを知り、実際に書いてみる。	
第13回	封筒・宛名の書き方と配送・通信サービス	封筒や配送時のサービスの種類や、宛名のマナーを知る。	
第１４回	知っておきたい統計、グラフ	自分が資料を作成する際、また資料を読むための統計やグラフについての基礎知識を身につける。	
第１５回	キャリアアップⅡ総復習	これまで学んだことについて整理し、振り返りを行う。	

教科書	ビジネス能力検定3級テキスト（教材ビデオ）
参考書	新聞・漢字検定問題集等　必要に応じ講師にて準備指示
成績評価	単位：60点　以上　　試験（70%）・検定（３0%）の総合点で60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）・ビジネス検定受検
オフィス・アワー	受検日及び対策講義は日程により変更の可能性あり

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	グループディスカッション		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	水
	ビジネス分野（実習）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	現在社会的問題になっていることや、これから日常生活において遭遇するであろう各問題に関して様々な角度から考査していき意見を交わす。担当教員が提示する時事的問題・世界各国との関わりかがもたらす日本の問題などにも見聞をく深めていく。							
学習目的	身近に起こる問題に関して問題意識を持つことを常態化する。様々な局面において多方面から考えらる人物に成長する。							
学習目標	物事には一方からだけしか見ていれば見えない物も多いことを認識する。多面的な考えを持ち、受け入れる考えを持てる。自分の意見を発表できる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	グループディスカッションとは		
第2回	基本戦略	グループディスカッションの苦手を克服する5つのコツ	
第3回	役割別の振る舞い		
第4回	グループディスカッションの進め方		
第5回	自由討論型の進め方		
第6回		詳細別紙	
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上　　グループ内での評価・担当教員の項目チェックシート・出席率
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	サービス接遇特講		担当者	岡本	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1.2年	曜日	水
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける							
学習目的	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネートなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する							
学習目標	就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	信頼関係を築く立ち振る舞い	好感度アップする基本態度の習得（＝授業態度）	
第2回	新郎新婦の全身コーディネート	新郎新婦のいろいろなコーディネート例を紹介	プロジェクター
第3回	魅力分析・なりたい花嫁コンセプト	自分自身の魅力分析と理想の花嫁像のコンセプト作成	
第4回	理想の花嫁コーディネート	ドレス、ヘアメイク、アクセサリー、ブーケデッサン	
第5回	カウンセリング：なりたい花嫁コンセプト	ペアになり相手の理想の花嫁像を引き出す	
第6回	衣装選びと全身コーディネートデッサン	相手に一着WDを決めてもらい、全身コーディネート	
第7回	新郎新婦の美しい所作	新郎新婦の魅力が引き出される所作のレッスン方法	学内式場で
第8回	アクセサリー作り	一工夫のアクセサリー作り	予算：一人500円？
第9回	エスコート・写真撮影のコツ	花嫁様のエスコートの仕方や写真撮影の注意点	学内の式場で
第10回	ワンランク上のコーディネート	アレンジの具体例や花嫁様のお悩みをカバーする方法	プロジェクター
第11回	ブライダルメイク　洋装・和装デモ	メイク上の注意点の他、お色直しの時などの注意点	
第12回	ハキハキとした分かりやすい話し方	発音発声練習と分かりやすさの基本ルール習得	
第13回	信頼関係を築ける心理テクニック	限られた時間で信頼される心理テクニックの習得	
第14回	好感度アップの見た目と話し方の総復習	これまでの内容の総復習	
第15回	なりたい自分像に向けた明日への宣言	学んだことを行動に移すための具体的な宣言	

教科書	
参考書	できれば花嫁のドレス・ヘアメイク・ブーケなどの雑誌
成績評価	単位認定　　60 点以上　　出席・授業態度・課題提出にて算出
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	ビジネス分野（講義）	選択科目	単位	１単位	学年	1	曜日	水
		必須	（時間）	30			時限	3

授業の概要	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかり相手に伝える積極的な意思表現ができるようになる。
学習目的	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。 プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。
学習目標	1. 論理的に物事を考えられるようになること 2. 限られた時間の中で、自分の考えが効果的に述べられるようになること

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類と定義について	
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて	
第3回	プレゼンテーションの目的	紹介のプレゼンテーション	
第4回	プレゼンテーション準備と流れ1	聞き手の分析や目的の明確化	
第5回	プレゼンテーション準備と流れ2	プラン作成やツールについて	
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ	
第7回	バーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法	
第8回	ノンバーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法	
第9回	身近なプレゼンテーション	スピーチ・フリートーク	
第10回	パブリックスピーキング1	インタビューをしてみよう	
第11回	パブリックスピーキング2	会議と司会をしてみよう	
第12回	パブリックスピーキング3	学校生活について話してみよう	
第13回	説明と説得のプレゼンテーション	グループワーク	
第14回	発表に向けてのリハーサル		
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り		

教科書	テキストは毎回配布
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　プレゼンテーション課題提出
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	マナー　プロトコール		担当者	鶴田理絵	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	木
	ブライダル分野（講義）		（時間）	30時間			時限	3
授業の概要	国際的な基本マナーであるプロトコールなど、マナーに関する知識の幅を広げる。また、国際化社会においても普遍的に要求される、論理的に表現する力を養成する。各回演習を行う。							
学習目的	国際化により発生する多様な場面に対応するための、基礎的な国際儀礼に関する知識を得る。また、社会人として必要なコミュニケーション力の基礎として、論理的で、わかりやすい文章を書く力をつける。							
学習目標	1.　7月10日実施のマナー・プロトコール検定3級取得 2.　国際化社会で活躍する社会人に必要とされるプロトコール（国際儀礼）の基礎知識を身につける 3.　ビジネス文書にとって必要なわかりやすさを実現するために、読み手にとって読みやすい文章が書けるようになる							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	オリエンテーション 主語と述語を近づける、相手を敬う表現を正しく使う	本科目の学習目標を知る 明快で尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使用した文章を作成する	
第2回	修飾・被修飾関係をはっきりさせる・適切な指示代名詞を使う	情景や細やかな心情を表現するために必要な修飾語表現を学ぶ	
第3回	効果的に接続詞を使う・語尾を統一する	適切に接続詞を入れることで、文と文をつないで、文章を整理し読みやすくする	
第4回	一文を短くする・一文には1つの事柄だけを入れる	要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する	
第5回	助詞「の」の連続使用は2回までにする・二重否定を避ける	単調な、またあいまいな印象を与える言葉の重複使用を避ける	
第6回	事実と推測を区別する	事実と推測を区別することで読み手の誤解を防ぐ	
第7回	理解しやすい構成にする	読み手が即座に全体像を把握できる構成にする	
第8回	国際プロトコールの基本	国際化社会において必要とされる、外交上のマナーやしきたりを学ぶ	
第9回	食事のマナー	各国料理のテーブルマナーについて学ぶ	
第10回	冠婚葬祭と贈答のマナー	日本の、特に葬しきたりと贈り物・お返しのルールを学ぶ	
第11回	社会人に必要なマナー振り返り	他科目で修得した社会人として必要なマナーについて、マナー・プロトコール検定試験前に振り返る	
第12回	論理的な文書をつくる(1)　企画書	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ	
第13回	論理的な文書をつくる(2)　メール文	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ	
第14回	論理的な文書をつくる(3)　議事録	情報共有を目的とした議事録において必要な要素を学ぶ	
第15回	まとめ		

教科書	ロジカル・ライティング（日本実業出版社）、第4回外交政策説明会におけるプロトコール説明資料（外務省）　他
参考書	新聞・漢字検定問題集等　必要に応じ講師にて準備指示
成績評価	単位認定　　60 点以上　　期末試験(60%)・マナー・プロトコール検定3級合格(20%)・授業内で行う演習の完成度(20%)
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビューティコーディネイト		担当者	若林	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	木
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	3
授業の概要	トータルビューティを学ぶ上び幅広く活躍するために美容サロンにおける基礎的知識を学習する。公式テキストにのっとって進める。2章の一部・3章については美容専門部分であるため美容科の教員によって指導を行う。検定が6月であるため春休みから実施する。							
学習目的	サロンでのアシスタント業務ができる。ブライダルサロンカウンセリング業務を担当できる。							
学習目標	ビューティコーディネータ検定3級の合格（6月頃開催）							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ビューティコーディネイトの仕事とは	トータルビューティのトレンド・役割・能力・キャリアプラン	
第2回	生産性を高めるためのフロアマネジメントワーク	クリンリネス～接客時の言葉使い	
第3回		お客様への対応～アフターカウンセリングの基本	
第4回	美意識をコーディネイトする	おしゃれをするには～ファッションを理解する	
第5回	美容基礎理論	毛髪理論・頭皮科学の解説・色の基礎知識とカラーの解説	
第6回	おしゃれの基本	パーソナルカラーとヘアカラー～顔型とヘアスタイル	
第7回	美容メニューの基本知識	カット・パーマ施術の解説	
第8回		カラー・ヘアケアの施術の解説	確認問題の実施
第9回	サロンにある器具の基本知識	施術に必要な器具・用具類	課題：過去問①
第10回	サロンワークなどビジネスについて	1章 言葉使い・カウンセリング・ワロンワークに求めれるもの	
第11回			課題：過去問②
第12回	過去問対策	実際の検定同様　模試実施	
第13回	解説と弱点対策	前回の模試の解説及び重点ポイントを集中的に学ぶ	
第14回	検定	受検する	
第15回	総まとめ	後期最終期のオープンキャンパスや実務実習・レストランサービスなどにつないでいく。総復習を行い、カウンセリング業務がスムーズに行えるようになる	

教科書	ビューティーコーディネーター公認テキスト
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上　　検定合格　又は学内試験60点以上をもって単位認定とする
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	基本ITⅠ		担当者	吉野	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	月
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	企業においてパソコンでの事務処理は必須である。授業内ではワードにてチラシ（案内）が作成できる。2年で習うコンピュータ映像の授業にスムーズに入ってブライダル業界でのセンスある映像加工ができるように学習する。							
学習目的	きらりと光るセンスあるチラシ（案内）などが作成でき、事務処理が滞りなく行える社会人を目指す。パワーポイントが作成できプレゼンができる人材になる。							
学習目標	ワードにて写真やイラストを入れたA4リーフレットが作成できる。パワーポイントの作成方法を理解し5枚程度のシートが作成できる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	パソコンルームの使用法とWord基礎	・パソコンルームの使用上の注意事項について ・自己紹介 ・キータイピング（パソコンレベルチェック）	
第2回	Word基礎	・課題を与えて、指定時間内にキータイピングする。 ・課題を与えて、ビジネス文書（罫線活用）を作成する。 ・印刷設定を理解する。	作成した課題データを提出させる。
第3回	Word基礎	・課題を与えて、指定時間内にキータイピングする。 ・課題を与えて、ビジネス文書（イラスト、ワードアート挿入）を作成する。	作成した課題データを提出させる。
第4回	Word基礎	・課題を与えて、ビジネス文書（罫線、イラスト、ワードアート挿入）を45分間で作成できるようにする。	作成した課題データを提出させる。
第5回	Word基礎	・課題を与えて、ビジネス文書（罫線、イラスト、ワードアート挿入）を45分間で作成できるようにする。	作成した課題データを提出させる。
第6回	Word基礎	・課題を与えて、ビジネス文書（罫線、イラスト、ワードアート挿入）を45分間で作成できるようにする。	作成した課題データを提出させる。
第7回	Word応用	・広告デザインのレイアウトについて理解し、作成する。	作成した課題データを提出させる。
第8回	Word応用	・課題を与えて、広告デザインを練習する。 ・簡単な名刺の作成方法を理解し、作成する。	作成した課題データを提出させる。
第9回	Word応用	・名刺の作品を作成する。 ・簡単なPOPやチラシの作成方法を理解する。	作成した課題データを提出させる。
第10回	Word応用	・簡単なPOPやチラシ作成の練習をする。	作成した課題データを提出させる。
第11回	Word応用	・課題を与えて、A4リーフレットを作成する。	
第12回	Word応用	・課題を与えて、A4リーフレットを作成、完成させる。	作成した課題データを提出させる。
第13回	PowerPoint基礎	・操作方法を理解する。 ・プレゼンテーション技法を理解する。	
第14回	PowerPoint応用	・簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成する。	
第15回	PowerPoint応用	・簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成し、完成させる。	作成した課題データを提出させる。

教科書	
参考書	九州文化出版「CS技能評価試験ワープロ部門3級受験対策練習問題集」、日本語情報処理検定協会ホームページ「文書デザイン検定」過去問題、グラフィック社「レイアウトの基本ルール」、成美堂出版「Wordでできる！POP＆チラシイラスト素材集」、実教出版「30時間でマスター プレゼンテーション＋PowerPoint2010」、ソーテック社「パワポで簡単 企画書＆プレゼンデザイン」
成績評価	単位認定　60 点以上　基本は課題の提出により採点する。理解する為出題した演習問題は、基準を設け減点法により採点する。
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	基本ITⅡ		担当者	吉野	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	企業においてパソコンでの事務処理は必須である。授業内ではエクセルを使用しての基本的な実務書類（顧客データ管理、表作成、請求書作成）が作成できる。							
学習目的	パワーポイントで作品を作成し、プレゼンができるようにする。事務処理（顧客データ管理、表作成、請求書作成、グラフ作成）が滞りなく行える人材になる。							
学習目標	パワーポイントを活用して、プレゼン用資料として8枚以上のシートを作成できる。関数を用いた表計算や罫線表示、検索・置換、並べ替え、グラフ作成ができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	PowerPoint応用	・課題を与えて、8枚程度のシートを作成する。	
第2回	PowerPoint応用	・課題を与えて、8枚程度のシートを作成する。	
第3回	PowerPoint応用	・課題を与えて、8枚程度のシートを作成し、完成させる。	作成した課題データを提出させる。
第4回	Excel基礎	・表計算で文字・数字入力、セルの書式設定（フォント、配置、表示）、セル、行・列の操作を理解する。	演習課題を提出させる。
第5回	Excel基礎	・計算式（四則演算、相対参照、絶対参照）、表の作成、検索、置換、オートフィルタ、並べ替え、印刷設定を理解する。	演習課題を提出させる。
第6回	Excel基礎	・計算式（四則演算、相対参照、絶対参照）、表の作成、検索、置換、オートフィルタ、並べ替え、印刷設定を理解する。	演習課題を提出させる。
第7回	Excel基礎	表計算で関数（SUM、AVERAGE、オートSUM）を理解する。	演習課題を提出させる。
第8回	Excel基礎	表計算で関数（COUNT、COUNTA、TODAY、NOW、ROUND）を理解する。	演習課題を提出させる。
第9回	Excel基礎	・表計算で関数（IF）を理解する。	演習課題を提出させる。
第10回	Excel基礎	・表計算で関数（VLOOKUP）を理解する。 ・見積書や請求書が作成できる。	演習課題を提出させる。
第11回	Excel基礎	・グラフの作り方を理解する。	演習課題を提出させる。
第12回	Excel基礎	・グラフの作り方を理解する。	演習課題を提出させる。
第13回	Excel基礎	・課題を与えて、表やグラフを完成させる。	演習課題を提出させる。
第14回	Excel基礎	・課題を与えて、表やグラフを完成させる。	演習課題を提出させる。
第15回	Excel基礎	・課題を与えて、表やグラフを完成させる。	演習課題を提出させる。

教科書	
参考書	九州文化出版「CS技能評価試験表計算部門3級受験対策練習問題集」
成績評価	単位認定　60 点以上　基本は課題の提出により採点する。理解する為出題した演習問題は、基準を設け減点法により採点する。
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	トータルビューティ基礎学Ⅰ		担当者	広瀬	学科	ブライタル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	1年	曜日	月
	トータルビューティ分野(講義)		(時間)	60時間			時限	2
授業の概要	ブライダルにおける美容の基礎知識を身につける							
学習目的	人体の構造、皮膚科学、公衆衛生、香粧品化学等の基礎知識を身につける							
学習目標	美容の基礎知識の習得							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第１回 第２回	皮膚の構造	皮膚の構造について	
第3回 第4回	皮膚の構造	皮膚の構造について	
第5回 第6回	皮膚の構造	皮膚の構造について	
第7回 第8回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて	
第9回 第10回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて	
第11回 第12回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて	
第13回 第14回	毛髪の構造	毛髪の構造について	
第15回 第16回	毛髪の構造	毛髪の構造について	
第17回 第18回	香粧品化学	香粧品化学の基礎知識について	
第１9回 第２0回	香粧品化学	香粧品化学の基礎知識について	
第21回 第22回	公衆衛生	美容に必要な公衆衛生の知識について	
第23回 第24回	公衆衛生	美容に必要な公衆衛生の知識について	
第25回 第26回	まとめ	まとめ、復習	
第27回 第28回	まとめ	まとめ、復習	
第29回 第30回	まとめ	まとめ、復習	

教科書	
参考書	理容美容保健/物理・化学/衛生管理　　日本理美容教育センター
成績評価	単位認定　　期末考査60点以上
履修のポイント	出席８０%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	トータルビューティ基礎学Ⅱ		担当者	広瀬	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前 期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	月
	トータルビューティ分野(講義)		(時間)	30時間			時限	2
授業の概要	ブライダルにおける美容の基礎知識を身につけ、実際の現場で対応できるような知識を身につける							
学習目的	人体の構造、皮膚科学、公衆衛生、香粧品化学等の基礎知識と応用知識を身につける							
学習目標	美容の基礎知識の習得とその知識を使ってブライダルの専門家として現場で対応できるようにする							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第１回	皮膚の構造	皮膚の構造について	
第２回	皮膚の構造	皮膚の構造について	
第３回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて	
第４回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて	
第５回	毛髪の構造	毛髪の構造について	
第６回	毛髪の構造	毛髪の構造について	
第７回	医薬品と医薬部外品	医薬品と医薬部外品について	
第８回	香粧品化学	香粧品化学の基礎知識について	
第９回	人体の構造	人体の構造について	
第１０回	カウンセリング実習	お客様に説明できるようにする	
第１１回	カウンセリング実習	お客様に説明できるようにする	
第１２回	カウンセリング実習	お客様に説明できるようにする	
第１３回	まとめ	まとめ、復習	
第１４回	まとめ	まとめ、復習	
第１５回	まとめ	まとめ、復習	

教科書	
参考書	理容美容保健　　日本理美容教育センター
成績評価	単位認定　　期末考査60点以上
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	色彩学		担当者	亀田	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	月
	トータルビューティ分野（講義）		（時間）	30			時限	1

授業の概要	色は生活の様々な分野にかかわっている。色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをすりのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に学習していく。
学習目的	テキストやカラーチャートなどを使用して色彩の分類・効果的な選択ができるようになる。パーソナルカラー分析を行い目安としてパーソナルカラー検定3級を受験する。さらにブライダルにおいて会場やテーブル・衣裳などの選択の選択の感性を磨く
学習目標	パーソナルカラー検定3級合格

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	色彩学とは	色彩学を学ぶ意義について	
第2回	四季の自然を表わす色	春／夏／秋／冬に関わる色について	
第3回	日本の色の歴史	特徴的な伝統色	
第4回	色と生活	周りを取り巻く様々な色、衣食住	
第5回	色の種類	赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統	
第6回	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色	
第7回	CUS表色系	カラーアンダートーンシステム	
第8回	色の三属性と対比現象	明度・彩度・色相	
第9回	色の感情効果	明度・彩度・色相に関する心理効果	
第10回	cus配色効果	アンダートーンとは	
第11回	ファッション概論	基本的な配色テクニック	
第12回	ブライダルと色彩	ウエディングと配色調和	
第13回	パーソナルカラー	肌色のしくみ	
第14回	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー	
第15回	検定対策	パーソナルカラー３級検定試験対策	

教科書	パーソナルカラリスト検定３級公式テキスト
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　パーソナルカラーリスト検定３級合格　又は　※学内試験60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は行わない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライズメイクヘア		担当者	広瀬	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	2年	曜日	月
	トータルビューティ分野（実習）		(時間)	60時間			時限	3･4
授業の概要	即戦力として活用できる着付とブライタル業界実務							
学習目的	ブライダルにおけるヘア・メイク・着付けなどの知識や技術を習得すること							
学習目標	ブライダルの基礎知識の習得/専門用語の意味を学ぶ/ブライダルを身近に考える							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回 第2回	トータル・ヘアーメイク	技術チェック。相モデルで骨格やパーツなどの補正	
第3回 第4回	トータル・ヘアーメイク	相モデル30分フルメイク　カウンセリングとアップスタイル2パタ	
第5回 第6回	トータル・ヘアーメイク	相モデル30分フルメイク　和装と洋装のメイクの違い	
第7回 第8回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、オーダー通りにヘアーメイクを仕上げる	
第9回 第10回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、オーダー通りにヘアーメイクを仕上げる　アテンドの知識	
第11回 第12回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、花嫁の特殊なオーダー通りにヘアーメイクを仕上げる	
第13回 第14回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアーメイクのクイックチェンジを行う	
第15回 第16回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアーメイクのクイックチェンジを行う	
第17回 第18回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアーメイクのクイックチェンジを行う	
第19回 第20回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアーメイクのクイックチェンジを行う	
第21回 第22回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアーメイクのクイックチェンジを行う	
第23回 第24回	トータル・ヘアーメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアーメイクのクイックチェンジを行う	
第25回 第26回	トータル・ヘアーメイク	オープンキャンパスにて発表会実施	
第27回 第28回	トータル・ヘアーメイク	作品制作	
第29回 第30回	トータル・ヘアーメイク	作品制作	
第31回 第32回	トータル・ヘアーメイク	作品制作	

教科書	
参考書	
成績評価	単位認作品の提出
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	着付け・作法		担当者	福井	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	1年	曜日	木
	トータルビューティ分野（実習）		（時間）	60			時限	1・2
授業の概要	浴衣の着付けから始め留袖の着付けで練習をしていく。帯結び（お太鼓・飾り結び）が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える							
学習目的	ブライダルの現場ではお直しや留袖の着付けを求められことも多いが対応することができるようになる。							
学習目標	浴衣が自分で着られる。留袖（お太鼓結び）が楽に着せることができる。チェック項目にのっとって美しく着せられる。立ち振舞いの所作ができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	浴衣を着る①	和室でのあいさつ・着物のたたみ方・名称	
第2回	浴衣を着る②	自分で浴衣を着る練習	
第3回	浴衣を着る③	浴衣の着付け・相モデル	
第4回	浴衣を着る④	自分で浴衣を着る練習・浴衣の着付け・相モデル	
第5回	留袖の名称と下着までの着付け	基本的な着物の着方を学ぶ1回目・着物の名称・末広・襟の合わせ方・　肌着・足袋をつける・長襦袢着付け	ブライダル検定（テキスト内容）の確認
第6回	留袖の着付け	長襦袢着付け・留袖着付け（相モデル）	
第7回	留袖の帯結び①	帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル）	
第8回	留袖の帯結び②	帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル）	
第9回	留袖の帯結び③	帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル）	
第10回	付け下げ着付け・帯結び①	二重太鼓変り結び	
第11回	小紋着付け・帯結び②	文庫系飾り結び	
第12回	留袖の着付け（着付けから帯結びまで）	留袖着付け・お太鼓	
第13回	自分で着られる・結べる（浴衣）	着物での立ち振舞いも習得する	
第14回	着てみよう（浴衣）	夏休みOC浴衣ディの日に自分で着る（ヘアアレンジ）	
第15回	時間を測って（留袖）	指導員の指定する時間内に着つけられるようになる	

教科書	美容技術理論2
参考書	
成績評価	単位認定　浴衣着付け・留袖着付けの実技試験60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	メイクアップ基礎	担当者		学科	ブライダル	開講期	前期
区分	必須科目	単位	2単位	学年	1年	曜日	木
	トータルビューティ分野（実習）	(時間)	60			時限	1.2
授業の概要	<座学>皮膚科学、顔の成り立ち～顔分析、ゴールデンプロポーションについて、色彩学、道具の名称～使いこなしなど <実技>クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの楽しさを知る						
学習目的	人の顔に触れることに慣れる。美容師としての、基礎的なメイク理論・技術の修得。お客様に対する気配りや心遣いを学ぶ。						
学習目標	JMA3級取得。　またお客様を美しくすることを目的にしたメイク・言動を身につける						

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	授業の進め方・道具のチェック＆手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と道具の手入れ方法を説明	
第2回	美人ポイントメイク＆筆の使い方	ゴールデンプロポーションとセルフメイク・筆の使い方	
第3回	道具の置き方・身だしなみ・スキンケアのデモ	道具セッティング・身だしなみチェック・スキンケアの一連の流れ	
第4回	ポイントクレンジング	ウイッグを使ったポイントクレンジングの練習	
第5回	全体クレンジング	ウイッグを使った全体クレンジングの練習＆復習	
第6回	ポイント＆全体クレンジング	相モデルでポイント＆全体クレンジング練習	
第7回	全体クレンジング	相モデルにてレッスン	
第8回	ポイントクレンジング～乳化	ポイントクレンジング～乳化まで相モデル練習	
第9回	化粧水	ウイッグを使った拭き取り練習・これまでの復習	
第10回	ポイントクレンジング～拭き取り	ポイントクレンジング～拭き取りまで相モデル練習	
第11回	化粧水	ウイッグを使った化粧水の練習＆これまでの復習	
第12回	ポイントクレンジング～化粧水	ポイントクレンジング～化粧水まで相モデル練習	
第13回	ベーススプレッド	ウイッグを使ったベーススプレッド・これまでの復習	
第14回	ポイント～ベーススプレッド	ポイント～ベーススプレッドまで相モデル練習	
第15回	スキンケア通し練習	ウイッグを使ってこれまでの復習＆採点のポイント	
第16回	クレンジング～スキンケア	相モデルで通し練習	
第17回	ベースメイク（自分の顔で）	コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー	
第18回	クレンジング～コンシーラー	相モデルでクレンジング～コンシーラーまでメイク	
第19回	ベースメイク（自分の顔で）	フェイスパウダー・ハイライト・モデリング・ニュアンス	出来が良ければ
第20回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成	※ナチュラルメイク眉
第21回	筆記試験対策①顔の成り立ち	教科書説明＆問題集	
第22回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成	※ナチュラルメイクアイメイク
第23回	筆記試験対策②顔の分析	教科書説明＆問題集	
第24回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成	※ナチュラルメイクリップ
第25回	筆記試験対策③色彩学	教科書説明＆問題集	
第26回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成	※ナチュラルメイクチーク
第27回	筆記試験対策④準備物と順序	教科書説明＆問題集	
第28回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成	※ナチュラルメイク・フル
第29回	イメージメイク実践	習得した基礎を踏まえて自分にあうイメージメイクを学ぶ	
第30回			

教科書	ＪＭＡ日本メイクアップ技術検定協会テキスト3級
参考書	
成績評価	単位認定：　JMA検定試験合格・または定期試験６０点以上（検定が全員合格の場合は定期試験は実施しない）・
履修のポイント	出席率８０％以上　　補講は行わない
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ネイル基礎		担当者	木村	学科	ブライダル	開講期	後期
区分	トータルビューティ分野		単位	3	学年	２年	曜日	火
	必須		(時間)				時限	1～3
授業の概要	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定３級対策							
学習目的	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定３級受験							
学習目標	7月　　JNECネイリスト技能検定試験3級　受験							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	初回授業説明 理論	教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論	
第2回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論	
第3回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論	
第4回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論	
第5回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論	
第6回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト	
第7回	ネイルケア基礎	ネイルアート	
第8回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論	
第9回	ネイルケア基礎	ネイルアート	
第10回	検定対策	3級対策	
第11回	検定対策	3級対策	
第12回	検定対策	３級対策	
第13回	検定対策	ネイルアート	
第14回	検定対策	ネイルアート	
第15回	検定対策	ネイルアート	

教科書	JNAテクニカルシステム（ベーシック）
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　小テスト（20%）模擬検定（20%）課題提出（10%）期末テスト（実技・筆記）（50%）授業態度を加味して成績評価を行う 又JNECネイリスト技能検定試験3級合格を目指す
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる　出席時間不足のための補習は行なわない　本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。　授業開始時には事前準備を済ませておく事。
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ヘアアレンジⅠ	担当者	福井	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目	単位	1単位	学年	1年	曜日	水
	トータルビューティ分野（実習）	(時間)	30			時限	3
授業の概要	ウィッグ使用の実技中心となる。						
学習目的	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。 イベントや実技試験で必要となるアレンジ技術の習得を目指す。						
学習目標	人頭でのアレンジを実現できる。						

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	基礎知識	道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備	
第2回	身だしなみの為のアップスタイル	・自分で出来るアップスタイル・夜会巻き	
第3回	身だしなみの為のアップスタイル	・自分で出来るアップスタイル・夜会巻き	
第4回	基礎技術　（基礎１）	基礎技術を修得する	
第5回	基礎技術　（基礎２）	・ブラッシング・ピンニング・ホットカーラの巻き方 ・毛髪調整（スタイリング剤の使い方）	
第6回	基礎技術　（基礎３）	・各種タボの作り方・根止め（土台）の作り方 ・ゴムの結び方・逆毛（バックコーミング）の技法	
第7回	基礎技術　（基礎４　一束）	一束にまとめる（・すき毛あり・すき毛なし等）	
第8回	基礎技術　（基礎５　サイド）	サイドのまとめ方（・ひねり上げ・ねじり上げ等	
第9回	基礎技術　（基礎５　フロント）	フロントのまとめ方（・ポンパドール・各パート分け等）	
第10回	編み込み　基礎技術 根元からしっかり編む基本法	基本の毛束の持ち方と指使いを修得 ・表編み・裏編み・ロープ編み・フィッシュボーン	
第11回	編み込み　基礎技術 基本技法で編み込む	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側表三つ編み込み・両側表編み込み	
第12回	編み込み　基礎技術 基本技法で編み込む	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側裏三つ編み込み・両側裏編み込み	
第13回	アップスタイルの作製	編み込みのアップスタイルの作製	
第14回	アップスタイルの作製	編み込みのアップスタイルの作製	
第15回	期末テスト対策	編み込みを取り入れたオリジナルアップスタイル作製	

教科書	
参考書	新アップスタイルの基本・編みこみ入門
成績評価	単位認定　60　点以上　期末テストの実技得点から授業態度により加点方式を取りいれる。
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビジネス文章力		担当者	小森	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	選択科目 ビジネス分野（講義）		単位 （時間）	1 30時間	学年	1年	曜日 時限	月 2
授業の概要	ブライダル業界では特に文字を書く機会が多くあり、誤字脱字は信用をなくす。毎回課題のペン習字の提出を行い読みやすい字を書けることを定着させる。また論述文や読書により感情移入表現が豊かにできるような座学。休み期間には練習問題集への取り組みもある。							
学習目的	読みやすい字が書ける。ビジネス文・論述レポート及び婚礼において使われる語句や古文などを理解する。							
学習目標	ペン習字練習帳の毎日の取り組みの定着化。課題への取り組みによって読書の習慣をつけ意見が記述できる。箇条書き・報告書・意見書などの基本的な文章を正しい形態で作成することができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	毎回のペン習字の課題（宿題）について。自己紹介から自分の名前について考える。	
第2回	名前の漢字が示すもの	多い名前・漢字に込められた親の思いをくみ取ろう あなた自身の名前について考え800字程度にまとめる。	
第3回	元気にする言葉・幸せにする言葉集め	五行歌から豊かな感受性を高める。	課題：第7回に発表するための本を読んで感想文を作成しておくこと
第4回	和文化に触れる①	年中行事・暦等。	
第5回	プラスの言葉に言い換える	プラス思考でいるためにすべての言葉や出来事を前向きな言葉に置き換えるトレーニング。	課題：自己紹介文の作成600字程度
第6回	自己PR文を作成（提出の事）	自己紹介（PR）文を作成する　後半は1分間スピーチにて実行	※ビデオ撮影　要
第7回	第3回時の課題発表	構成について考える	
第8回	ビジネス文章①	ビジネス文書の書き方について「起承転結」，５Ｗ２Ｈ，箇条書きなど基本的な技術を理解する。	
第9回	ビジネス文章②	文の基本型，テーマの立て方，展開，句読点のルール，段落わけのルール等について理解する。	課題：なりたい自分になるために努力していることについて800字程度
第10回	ビジネス文章③：課題提出の事	ビジネスメールの基本ルール	
第11回	提案書①	ブライダルプランナーとしての提案を文章化する	レポート提出
第12回	提案書②	ブライダルプランナーとしての提案を文章化する	レポート提出
第13回	市販本から	『１００の花束』から愛情あふれる文章を理解する。	課題：本を1冊読み紹介ガードを作成してくる
第14回	謡（祝いの歌）について考える	高砂について理解をする。	（夏休み課題　読書感想文・新聞記事から記述）
第15回	まとめ		

教科書	
参考書	ペン字練習帳
成績評価	単位認定　60　　点以上　①毎回のペン字の練習帳の提出（20点）②授業中の課題呈提出（40点）③期末テスト（40点）　合計100点
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビジネス数学	担当者	澤	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	選択選択	単位	1	学年	2年	曜日	水
	ビジネス分野（講義）	(時間)	30時間			時限	2
授業の概要	日常生活に関する題材を取り上げ、確かな読解力・適切な翻訳の仕方、正確な遂行力を養い論理的思考の面白さ、痛快さを実感する。						
学習目的	社会人としてのコミュニケーション能力とは、論理的な表現力を指し、情報の収集・整理・統合・思考そして発信に至るまでの能力が求められる。この能力を数学的思考を通して身につける。						
学習目標	身近な問題を解くことを通して、読解力・分析力・翻訳力・目標設定力・遂行力を養う。						

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	オリエンテーション・数学基礎学力テスト	授業の進め方・評価の方法について　数学基礎力試験（数学検定試験）	
第2回	速さの基礎	速さの定義・秒速・分速・時速・速さと距離時間の関係の復習。速さを求める。	
第3回	旅人算・流水算	動くものが2つあるとき、2つのものの隔たりの推移に関する問題を解く。	
第4回	割合の基礎	単位の換算・百分率と歩合・濃度の計算（重量パーセントからモル濃度）	
第5回	損益算	売買による損益に関する計算。原価（仕入れ値）・定価・売価（売り値）・利益の間の関係、特に利益率・値引率の割合の意味を理解し問題を解く。	
第6回	仕事算	単位日数や単位時間にできる仕事の量や仕上げるのにかかる日数や時間を求める。	
第7回	計算の基礎・虫食い算	四則計算・四則混合計算・Xを使う式・連立方程式を解く	
第8回	順列・確立	順列・確立の基本的な考え方と保険・銀行の融資（ゆうし）・株式市場の分散投資について学ぶ	
第9回	集合	集合と要素・部分集合・空集合・関集合・和集合・全体集合・補集合について学ぶ。	
第10回	推理	リーグ戦の勝敗・対応関係・うそつき問題を解く	
第11回	面積・体積	平行四辺形の面積・三角形の面積・台形の面積・ひし形の面積・円の面積・柱体の体積・錐体の体積を求める	
第12回	展開図	直方体・立方体・その他の図形の展開図から、体積・表面積を求める	
第13回	把握力と分析力	業界シェの動向・所得税を求める	
第14回	選択力と予測力	最適な通勤ルートはどれか・来月の売上予想はいくらか求める。	
第15回	表現力	売上高を棒グラフで表す・データ分布のヒストグラムは	

教科書	就職筆記試験対策問題集　一般常識・SPI13
参考書	実践ビジネス数学（エントリークラス）
成績評価	単位認定　確認テスト６０点以上　但し１４回分の課題がすべて提出されていることが前提条件
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビジネス英語		担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	ビジネス分野		単位	1	学年	2	曜日	
	選択科目		(時間)	30時間			時限	

授業の概要	ブライダルシーンを想定し、初対面の挨拶から会場案内・道案内などができる会話能力をつける実践的な授業。2人チームやグループとなり英語でのコミュニケーションが高められるよう趣味や文化などの紹介なども盛り込んでいる。また担当教員が準備するフラッシュカードやビデオなどの映像を見ながらの視覚的授業もありビジネス英語への興味喚起をうながす内容である。 1回のレッスンで1つのテーマに絞り、豊富な発話量・口頭練習で達成感と共に定着を図ります。 2回目のレッスンからは前回の復習としての単語小テストを実施します。
学習目的	中学・高校で培ってきた英語力の基礎固めをしながら、主にリスニングとスピーキングに重点をおき、日常生活に即したトピックについて相手の発話を集中して聞くことで内容を理解し、さらに自分の身の回り（日常生活、趣味、家族についてなど）のことについて、自ら発信できる力を身につけることを目的とする。
学習目標	・場面設定や背景をもとに身近い会話の全体的な内容を把握できる。 ・自分自身について学生生活や身の回りの出来事について簡単に述べることが出来る。 ・相手の発話を尊重し、じっくりと耳を傾ける姿勢を示すことができる。 ・発音や発話練習に積極的に参加できる。

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	Nice to meet you	自己紹介ができる。初対面の挨拶ができる。	
第2回	How’re you this morning?	相手の調子を尋ねたり、自分の調子を言うことが出来る。あいづちを打つことができる。	
第3回	What do you do?	職業を尋ねたり、答えたりすることができる。あいづちを打つことができる。	
第4回	What do you do in your free time?	余暇の過ごし方について尋ねたり、答えたりすることができる。種類を尋ねたり、答えたりすることができる。	
第5回	Where’s the nearest bookstore?	道を尋ねたり、答えたりすることができる。	
第6回	I’ll have a double cheeseburger.	ファーストフード店で注文することができる。	
第7回	Where’re you from?	天気の話題をきっかけに見知らぬ人と会話を始めることができる。出身地を尋ねたり、答えたりすることができる。	
第8回	What day is it today?	曜日を尋ねたり、答えたりすることができる。人を誘ったり、誘いを断ったりすることができる。	
第9回	How much is it?	値段を尋ねたり、答えたりすることができる。数字を正しく言えることができる。	
第10回	May I have your name,please?	受付で約束があることを伝えることができる。位置を表す表現を使うことができる。	
第11回	Where’s my cell phone?	物の場所を尋ねたり、答えたりすることができる。位置を表す表現を使うことができる。	
第12回	I have to write a sales report.	しなければならないことを伝えることができる。	
第13回	I’m studying Japanese.	相手や第三者について、今何をしているのか尋ねたり、答えたりすることができる。	
第14回	How was your weekend?	趣味について尋ねたり、答えたりすることができる。	
第15回	テスト	ペアワークの口頭試験を実施します。	

教科書	ECC ENGLISH CLINIC VEGA
参考書	
成績評価	単位認定 60 点以上 授業参加度40%、小テスト20%、テスト40%で評価します。
履修のポイント	学生参加型です。発言や発表の機会も多くありますので、より積極的な参加が必要です。
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	時事社会		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	
区分	選択科目		単位	1	学年		曜日	
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	
授業の概要	社会の中で生きる一員として社会通念を身につけ現代の情勢・日本の置かれている問題・様々な問題などを知り考えられる能力が求められる。ニュース検定関連のWEBを利用し各自で学習を進めていく。新聞記事や情報（メディア）などを取り上げ、知る・考える・意見を語るなどの授業を実施する。また、記述することで自身の意見を可視化し文章力の向上にも繋げていく。							
学習目的	新聞を読む習慣をつける。問題意識を持って意見を述べることができる、書ける人材に成長する							
学習目標	新聞記事を読み取ることができる。図やテータから社会情勢や変化などそれらが示すことが読み取れる。12月のビジネス検定での対策問題では満点を目指す							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	時事用語1	時事基礎用語（政治編）の解説	
第2回	時事用語2	時事基礎用語（経済編）の解説	
第3回	時事用語3	時事基礎用語（社会編）の解説	
第4回	時事用語4	時事基礎用語（宗教編）の解説	
第5回		ニュース検定のWEBを利用し各自で学習を進めていく	
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回	新聞を読む	新聞を読むとく力を身につける	
第13回	新聞を読む	新聞を読むとく力を身につける	
第14回	図やデータの読み取り	2問目以降は時間制限（7分）を設けて挑戦する。	
第15回	図やデータの読み取り	2問目以降は時間制限（7分）を設けて挑戦する。	

教科書	特になし・教員にて準備
参考書	一部・ビジネス検定テキストの新聞・データの項目
成績評価	単位認定　60　点以上　テスト（50%）・出席点（30%）・レポート（20%）などによる
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）・授業の内容は社会・国際情勢、話題のニュースなどによって変化する
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	論理的思考	担当者	澤	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	選択選択	単位	1	学年	２年	曜日	水
	ビジネス分野（講義）	(時間)	30時間			時限	2

授業の概要	日常生活に関する題材を取り上げ、確かな読解力・適切な翻訳の仕方、正確な遂行力を養い論理的思考の面白さ、痛快さを実感する。
学習目的	社会人基礎力の１つとして、自分で考え、判断し、率先して行動する事が求められている。論理的思考の学習をを通して論理的かつ合理的に状況を判断できる考え方や態度を育てる。
学習目標	ビジネス数学2ndの問題を解くことを通して、読解力・分析力・翻訳力・目標設定力・遂行力の５つの力を養う。

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	オリエンテーション・論理的思考の授業方法について・ビジネス数学エントリークラス・基礎力テスト	授業の進め方・評価の方法について 数学基礎力試験（数学検定試験）	
第2回	把握力	1.従業員の特性を見抜く 2.調査結果の分析で正しいものを選択する。 3.標準偏差から社員の能力を推察する	
第3回		4.ライバル企業の売上高を求める。 5.来年度の原価償却費はいくらか求める。 6.従業員の資格取得状況を調査する。	
第4回		7.BMIから部員の健康状態を察知する。 8.平均賃金を求める。 ※把握力の問題小テスト	
第5回	分析力	1.外注と自社対応どちらが得か分析する。 2.自転車の経済的発注量を求める。 3.取り扱いを見直す商品を探す	
第6回		4.会社の自己資本率を求める。 5.損益分岐点となる売上高はいくらか求める。 6.どのフャンドに資金運用を任せるか分析する。	
第7回		7.利付債権の最終利回りを計算する。 8.ドル建てMMF,2年後の受取金額を推測する。 ※分析力小テスト	
第8回	選択力	1.期待利益が最大の仕入れ計画を作成する。 2.最適な人材配置を考える。 3.ハービッツの基準で委託先を選定する。	
第9回		4.どの企業に投資すべきか選択する。 5.業務提携の相手先をどこにするか選択する。 6.経営等統合の候補先を探す。	
第10回		7.どの都市の不動産に投資するか選択する。 8.PERを基に購入する株式を選ぶ。 ※選択力小テスト	
第11回	予測力	1.大量受注の製品、いつ納入できるか予測する。 2.1年後最大規模となる店舗はどこか予測する。 3.今後の需要量推移を予測する。	
第12回		4.ライバル企業を超えるのはいつか予測する。 5.今年の売上高を予測する。 6.新規事業でどれくらい稼げるか予測する。	
第13回	表現力	1.株価の値動きをローソク足で示せ。 2.運用資金はどのように推移するか 3.課税標準と税制の関係性を示す。	
第14回		4.商品アイテムと販売数量関係を示す。 5.グラフの特性が分かるか。 6.調査結果を図で表すとどうなるか。	
第15回	確認テスト	把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のまとめテスト	

教科書	実践！ビジネス数学2nd
参考書	
成績評価	単位認定　　確認テスト６０点以上　但し１４回分の課題がすべて提出されていることが前提条件
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	サービス接遇特論		担当者	岡本	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	1年	曜日	水
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	見た目：態度・メイク・ファッション・立ち振る舞い、話し方：言葉遣い・声の魅力を磨き							
学習目的	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける							
学習目標	夏休みに入る前までにインターンシップに行って人前に出られる言動を習得する							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	好印象に欠かせない4つの基本態度	好感度アップする基本の態度を習得（＝授業態度）	
第2回	愛され顔メイクデモンストレーション	ブライダル業界で働くにあたったビジネスメイクの説明	
第3回	ファッションコーディネートの基本	自分自身のスタイルを良く見せる着こなしを知る	
第4回	色彩心理・パーソナルカラーの基本	自分自身の顔映りを良く見せる色を知る	
第5回	魅力分析・ファッションコンセプト	自分自身の魅力分析・魅力表現のコンセプト作成	
第6回	洗練された立ち振る舞い（8F鏡の部屋）	歩き方・立ち方・座り方・物の受け渡し・お辞儀など	※8Fダンス室
第7回	言葉遣い①敬語&発音発声練習	正しい敬語・ハキハキとした声を出す発音発声練習	
第8回	言葉遣い②接客用語・クッション言葉	接客用語とクッション言葉の習得	
第9回	言葉遣い③間違いやすい日本語	コンビニ・ファミレス言葉や若者言葉の間違いを知る	
第10回	信頼関係を築ける心理テクニック	限られた時間で信頼される心理テクニックの習得	
第11回	ザ・リッツカールトンのホスピタリティー	感動のサービスのためのお客様との12の約束紹介	
第12回	新郎新婦の美しい所作	新郎新婦の魅力が引き出される所作のレッスン方法	
第13回	クレーム応対・ブラダル業界で働く心構え	クレーム応対の基本の流れと業界での注意点	
第14回	好感度アップの見た目と話し方の総復習	これまでの内容の総復習	
第15回	なりたい自分像に向けた明日への宣言	学んだことを行動に移すための具体的な宣言	

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　　60 点以上　　出席・授業態度・課題提出にて算出
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィスアワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ		担当者	植村	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	火
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	各自の就職活動が円滑に進むよう担当教員がアドバイスなどを適時行う。エントリーをした企業への履歴書の記入や自己アピールなど具体的に指導する。自分の目標を見失うことなく就職先企業を決めていく作業を行う。個人ワーク、グループワーク形式。小テストにて理解度確認。							
学習目的	就職先企業を決まった後も今後仕事を長くできるよう企業に求められる人材へと自己研鑽する。							
学習目標	自分に合った就職先の内定を受ける。就職先への挨拶文などの書類作成ができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	現状の報告・今後の活動予定確認 応募書類・提出書類の書き方	各人が春休み中などに就職活動した事など含め進捗状況を報告する。 履歴書を完成させる。学校への提出書類確認。	HR教室
第2回	面接DVD	グループディスカッション所作を学ぶ。	HR教室
第3回	面接DVD	グループ面接所作を学ぶ。	HR教室
第4回	面接DVD	個人面接所作を学ぶ。	HR教室
第5回	企業研究・自己分析 模擬面接（グループ面接）	志望先絞込み・自己PR作成・ 模擬面接（グループ）	HR教室 小テスト①
第6回	企業研究・志望動機作成 模擬面接（個人面接）	志望先絞込み・志望動機作成・よく出る質問例対策 模擬面接（個人）	HR教室 小テスト②
第7回	グループディスカッション 小論文・エントリーシート	グループディスカッション 小論文の書き方 エントリーシート作成	HR教室 小テスト③
第8回	SPI・筆記対策	SPI・筆記対策	HR教室 小テスト④
第9回	グループディスカッション実技Ⅰ （模擬ブライダル）	全員で斬新なアイデアを出し合い、企画する。 企画書作成。	PC教室（256）
第10回	グループディスカッション実技Ⅱ （模擬ブライダル）	全員で斬新なアイデアを出し合い、企画する。 企画書作成。	PC教室（256）
第11回	グループディスカッション実技Ⅲ （模擬ブライダル）	企画書作成。 最後に発表。	PC教室（256）
第12回	企業講話	ブライダル業界の方の講話 業界の方のお話を聴く事で、業界で働く為の意識を高める	HR教室 小テスト⑤
第13回	夏休み中の活動確認	内定の出ている場合は、内定先と他の企業の比較 活動中の場合は、今後の活動予定作成 「報告書」の書き方	HR教室 小テスト⑥
第14回	夏休み中の活動報告	「報告書」を完成させ、発表	HR教室 小テスト⑦
第15回	働く上で必要なスキルを学ぶ	「ビジネスに必要な8つの意識」について考える。 今、自分はどの部分が足りないかを検証する。	HR教室 小テスト⑧

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　　60 点以上　　一般常識（小テスト出題の中より）
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	セールスプロモーション		担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	年	曜日	水
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	ビューティコーディネーター2級テキストのサロン運営部分を中心に学習する。サロン営業のマネージメントや購買意欲を向上させる方法等についての知識をつけていく。収益率等の計算を実施。効果的なDMについて、デイスプレイについて等を幅広く知る。検定日に合わせて一部集中授業また過去問への取り組みは自学。							
学習目的	企業が収益を上げるために行っていること、顧客満足のために会社（私たち）がなすべきことを意識して働けること。							
学習目標	春に受検したビューティコーディネータ3級の合格者は2級受検資格があるため検定合格を目指す。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	経営学の簡単な計算や適切な経営とは	コーディネータ2級検定について
第2回	模擬検定	過去問の実施　どのようなものかを知る	課題：明日提出
第3回	サロン運営とは	マネージメント・コーチとティーチング	
第4回	マーケティング	モードから人のイメージを見極める・ビジュアルイメージ	
第5回	ガウンセリング	カウンセリング	
第6回	運営管理	サロン運営のデータ管理・基礎計算について	
第7回	顧客データの読み取り。見込み客	サロン運営のデータ管理　係数管理　計算問題	
第8回	分析方法	RFM分析について	
第9回	まとめ	クレーム対策の後、まとめとして問題に取り組む	課題：明日提出
第10回	提案	トータルビューティについて	
第11回	提案	トータルビューティについて	
第12回	ワンプッシュトーク	効果的なディスプレイ・セールストークについての実践	
第13回	直前対策	ポイントまとめ	
第14回	試験	試験	
第15回	自分の仕事に反映させて	課題：集客を10%あっぷさせる方法を考える	

教科書	ビューティコーディネーター2級
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上　　ビューティコーディネーター2級合格、又は校内試験60点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	研究レポート		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	金
	ビジネス分野（講義）		（時間）	30時間			時限	3
授業の概要	ブライダルに関する知識を深めるため自ら探求していく。課題により様々な分野の知識を得ることによって見識を広めていく。レポート化して発表する。							
学習目的	調べる。まとめる。レポート化する。発表する力をつけ就職先で即実践できるようにする。							
学習目標	自ら調べ記入し、記載することで物事に対しての興味を喚起しまとめる力を養っていく。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	授業の方向性と次回からのテーマの説明	指輪（宝石）リングについて
第2回	指輪（宝石）リングについて	調べ・まとめていく	
第3回	制作	オリジナル作品・ボードなど	
第4回	発表	次回（カタログ引き出物）	カタログ準備するように
第5回	引き出物・引菓子について	持ち寄ったカタログから見えてくるもの	
第6回	発表		
第7回	母娘の思い出の旅	予算3万円程度で具体的に計画する	母娘の思い出の旅
第8回	準備	プランを考え、行程表を作成。また予算も立て見積書を作成できるように練習する。	
第9回	発表		
第10回	模擬挙式・披露宴について①	実務実習にて計画してる内容をまとめ課題点などを記入する	
第11回	模擬挙式・披露宴について②	実務実習にて計画してる内容をまとめ課題点を解決する。	
第12回	模擬挙式・披露宴について③	実務実習にて計画してる内容をまとめレポート化する	
第13回	発表	まとめたレポートを発表し共有する	
第14回	5年後のあなたに向けたメッセージ	課題として最終回に提出のこと	
第15回	まとめ		

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　　60 点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	コンピュータ映像		担当者	内田	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	月
	ビジネス分野（実習）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	披露宴やパーティにおいて映像を使った演出が多くみられニーズが高い。二人のストーリーをまとめたものや当日のセレモニーの様子を即映すエンドロールとはどのようなものか。またどの様にして制作するのか。授業では自分たちのYICでの軌跡を映像化する。							
学習目的	ブライダルの業務で対案ができる。学習したことをベースに、自己で能力を高め精度の高いものを制作していくセンスをもつ。							
学習目標	披露宴等で演出効果が高まる視覚映像制作に取り組む。効果的な撮影・映像処理が行える。5分程度の作品が制作できる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	映像・・・ってどんなものか？	宴中に多くとりいれられている映像演出について視聴・説明　今後の制作の基礎を知る	
第2回	簡易編集のオペレート技術	映像編集ソフトを使用し、簡易編集の方法を学び、実際に作品（1分程度）を制作する	使用ソフト：ムービーシアター5
第3回	写真、動画、音楽データの規格等	JPEG、MPEG、MP3等各種規格の解説	
第4回	写真撮影の基本テクニック	映像の素材となる、写真撮影の基本を知る 露出、絞り、シャッタースピード、ホワイトバランス、ISOなどスマホ撮影のテクニック	
第5回	本格的な編集作業・オペレート技術の実際	映像編集ソフトのオペレート技術を順次学ぶ エフェクト、音楽、SE、テキストの入力など	
第6回	テーマによる編集	テーマ：成長の軌跡・・・・IN　YICブライダル	
第7回	テーマによる編集	編集	
第8回	テーマによる編集	編集	
第9回	テーマによる編集	編集	
第10回	テーマによる編集	編集	
第11回	テーマによる編集	編集	
第12回	テーマによる編集	編集	
第13回	テーマによる編集	編集	
第14回	テーマによる編集	最終発表に向け、編集し終わった作品を、パソコンで視聴できるようにデータ変換を行う	
第15回	作品発表及び評価	各自制作した、作品をコメントを付けて発表及び他の作品を評価する。	卒業発表会時に行うこともある

教科書	なし
参考書	なし
成績評価	単位認定　60 点以上　出席点（20）、授業態度（20）、作品の完成度（60） （作品は学生・教職員にも評価してもらい、その得点を作品の完成度の得点に反映する。）
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	イベントプロデュース		担当者		学科	ブライダル	開講期	前期
区分	選択科目		単位	2	学年	1・2年	曜日	金
	ビジネス分野（実習）		（時間）	60時間			時限	2
授業の概要	地域のイベントや学祭（ほりかわ祭）などの企画を行い実行に向けて様々な角度から準備を進めていく。これらの小さなイベントの参加→実行→主催へと成長を遂げていく足ががかりとして、バックヤード演習と連携したステージ発表プログラム・ほりかわ祭の企画などを行う。一部集中授業。							
学習目的	自ら行動する・意欲的に参加する。さらに社会に出てからもリーダシップをとれる人材になることをを目指している。							
学習目標	バックヤード演習時のステージイベントの制作。地域のイベントに参画する。ほりかわ祭のクラス取り組み及び運営に携わる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス《計画》	目標や目的を明確にし、ステージイベントの計画	音楽室・ダンスルームの案内・各チーム練習場の選定
第2回	ステージイベントのプランニング基礎	計画書の作成～　クラス全体で1つ・チームごとに1つずつ（全体で4チーム）	
第3回	ステージイベントのプランニング　2	ダンス・音楽などのステージ上でビューティショウ	
第4回	ステージイベントのプランニング　3		
第5回	ステージイベントのプランニング　4	必要な備品なども準備　グループによっては2つ目のプログラムにとりかかる	完成させる
第6回	音響・証明	音響・照明ど絡めるとぐっとエキサイティングなプログラムになる。	
第7回	シフトの計画や実行に向けての調整・準備	日程を確認し計画する。コミュニケーションをとりながらメンバー全員で作る過程の喜びを感じる	
第8回	音響など他スタッフとの連携	9回目以降は実行につきミーティングを行うなどし各自が時間を有効に使う。	
第9回	※ビューティショウ	照明スタッフとして参加またはモデルや他アシスタントスタッフとして活動する	日程確認のこと
第10回			
第11回	ステージ発表	7・8月中のオープンキャンパス時の2回以上の参加・及び1回以上のステージ発表（地域のイベントや施設訪問）にて換算する。	
第12回			
第13回			
第14回			
第15回	ほりかわ祭の出し物	計画する	

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　授業態度・出席状況の総合点
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	アクティビティコミュニケーション		担当者	佐川	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	1年	曜日	金
	ビジネス分野（実習）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	ブライダル業界では素早い行動が求められる。またチームワークで行動することも多くある。授業ではレクリエーションスポーツやコミュニケーションゲームを行う。ストレス解放の仕方。リフレッシュの方法を知りメンタル面の強化も図る。一部校外授業（体育館）も行い団体スポーツ会の参加もある。							
学習目的	日常の中で運動を取り入れ継続できる。団体スポーツなどに参加する意欲を持ち続けストレスをためない心身を作る。							
学習目標	アイスブレイクの一つの手法であるアクティビティをの方法を3つ以上できる。団体ゲームに意欲的に参加できる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	オリエンテーション アイスブレイク	・オリエンテーション　・ボール送り ・自己紹介　・イス取り合戦 ・柔軟体操	使用教室：大ホール 準備物：動きやすい服装、運動靴、筆記用具
第2回	体力測定①	・腹筋力　・立位体前屈　・グラフ記入 ・握力　・反復横とび ・垂直跳び　・上体そらし	使用教室：ダンススタジオ 準備物：動きやすい服装、運動靴、筆記用具
第3回	体力測定②	・腹筋力　・立位体前屈　・グラフ記入 ・握力　・反復横とび　・教員より評価 ・垂直跳び　・上体そらし	使用教室：ダンススタジオ 準備物：動きやすい服装、運動靴、筆記用具
第4回 第5回	伏見稲荷大社（体力作りとリフレッシュ）	伏見稲荷大社 12時30分にロビーに集合し、JRで向かう。 所要時間約60分。京都駅解散。	10月22日実施。JR使用（京都～稲荷）。 実施場所：伏見稲荷大社 準備物：動きやすい服装、運動靴 筆記用具 引率：佐川
第6回	ヨガ①　～ハタヨガ～	数々の流派の源流。ゆっくりと体を伸ばすヨガ。心と体の原動力でもある「気」を重視。	使用教室：ダンススタジオ 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴、ヨガDVD
第7回	ヨガ②　～アイアンガーヨガ～	ゆっくりと体を動かすことで、集中力やスタミナがアップ。リラクゼーション効果も期待できます。ポーズの“形”を重視しているが、ブロックやベルトなどの補助用具を使ってサポートできるから、筋力・体力に自信のない人や、病後リハビリ中の人などでもOK。	使用教室：ダンススタジオ 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴、ヨガDVD
第8回	秋を見つけよう	梅小路公園に行って秋を発見する。集合場所・時間厳守で行動する。自然の中での色つきや風景の中で秋を発見できる感性をもつ。　雨天順延（第9回と入替）	使用教室：校外（梅小路公園） 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴
第9回	校外で体を動かすことを楽しむ	・ソフトバレーボールでラリー ※雨天時は室内で実施	使用教室：校外（梅小路公園） 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴
第10回	アイスブレイク①	・アイスブレイク（内容は未定） ・グループ分け ・発表の順番決め（じゃんけん）	使用教室：ダンススタジオ 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴
第11回	アイスブレイク②	・各グループごとに発表。 発表チーム以外は受講者にまわる。	使用教室：ダンススタジオ 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴
第12回	アイスブレイク③	・各グループごとに発表。 ・先週発表していないチームが発表。 ・発表チーム以外は受講者にまわる。	使用教室：ダンススタジオ 準備物：筆記用具、動きやすい服装 運動靴
第13回 第14回	お楽しみ会 or スポーツディ	お楽しみ会（内容は未定） or ボーリング大会 しょうざんボウルにて。13時にオムロン前より出発。 送迎バスあり。2ゲーム実施。	1月21日実施。 実施場所：ダンススタジオ or しょうざんボウル （京都市北区） 送迎バスあり。
第15回	2年生の卒業式に向けての制作	内容（制作物）は未定。要相談。	使用教室：ダンススタジオ 準備物：未定

教科書	
参考書	
成績評価	毎回のフィードバックシートの提出、授業への参加態度（できる出来ないではなく、積極性重視）
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない） 授業への参加態度（出来る出来ないではなく、積極性重視）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ヘアアレンジⅡ		担当者	岡田	学科	ブライダル	開講期	
区分	必須科目		単位	1単位	学年	２年	曜日	
	トータルビューティ分野（実習）		（時間）	30			時限	
授業の概要	ウィッグ使用の実技中心となる。							
学習目的	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。 イベントや実技試験で必要となるアレンジ技術の習得を目指す。							
学習目標	人頭で全てのアレンジを実現できる。							

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	ヘアーアイロン（知識と基礎技術１）	毛髪のブロッキングと方向性について （フォワードとリバースについて）	
第２回	ヘアーアイロン（知識と基礎技術２）	ヘアーアイロンの巻き方 ・平巻き・たて巻き・ミックス巻き	
第3回	ベーシックスタイル（夜会巻き１）	基礎技術と応用技術で夜会巻きスタイル	
第4回	ベーシックスタイル（夜会巻き２）	重ね夜会巻きスタイル	
第5回	ベーシックスタイル（夜会巻き３）	本夜会巻きスタイル	
第6回	アレンジスタイル（3）	巻き髪ダウンスタイル	
第7回	アレンジスタイル（4）	ハーフアップスタイル	
第8回	アレンジスタイル（5）	パーティスタイル	
第9回	アレンジスタイル（6）	ゆかたスタイル	
第10回	アレンジスタイル（7）	ブライダルスタイル①	
第11回	アレンジスタイル（8）	ブライダルスタイル②	
第12回	アレンジスタイル（9）	着物スタイル①	
第13回	アレンジスタイル（10）	着物スタイル②	
第14回	アレンジスタイル（11）	着物スタイル③	
第15回	オリジナルスタイル	オリジナルスタイル作製	

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　期末テストの実技得点１００％から授業態度により減点方式を取り得れる。
履修のポイント	出席８０％以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	随時

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライズエステ		担当者	荒木	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	2単位	学年	1年	曜日	月曜
	トータルビューティ分野（実習）		(時間)	60			時限	3、4

授業の概要	花嫁を最高に輝かせる為に今やブライダルエステをする人も多い。ドレス選びの際に肩やデコルテをマッサージするだけで瞬時に引き立つこともある。ブライダル業界人としてエステの効果を説明できること、簡単なマッサージができることは武器になる。授業は理論と実技を並行して行う。実技はハンド・デコルテを相モデルで、フェイスはセルフで実施する。 上達度を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識やテクニックを確実なものとするようにする。
学習目的	美容知識のベースとなる、人体の基本的構造を理解し、知識を身につけ幅広く活用できるようになる。 人に触れる施術を行うことで、接客する上での心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む。
学習目標	・ 解剖生理学の基礎 骨 筋肉 皮膚 消化器 内分泌 神経 を理解する ・ 健康や美しさを維持するための基本知識やマッサージを習得する

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1週	ブライダルエステとは 社会ニーズ エステティック実技の事前準備の説明 フットケアについて	・エステティックにおけるブライダルコースの位置づけ、コース内容、価格、社会的ニーズを理解する ・ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・フットケアの方法を覚える	
第2週	エステティックの歴史 セルフフットマッサージについて	・エステティックの起源や歴史について理解する ・セルフフットマッサージを習得する	
第3週	皮膚の構造① 気になる二の腕を細くするマッサージの習得① 細い指先をつくる 細い二の腕をつくるハンドマッサージ	・ホメオスタシス（恒常性）を理解し正しいダイエット知識を理解する ・上腕の軽擦、8点プッシュ、手のひら、ストレッチ、脇のリンパを流す【右】	
第4週	皮膚の構造① 気になる二の腕を細くするマッサージの習得② 細い指先をつくる 細い二の腕をつくるハンドマッサージ	皮膚の役割と基礎知識 表皮、真皮、皮下組織について特徴・働きを理解する ・上腕の軽擦、8点プッシュ、手のひら、ストレッチ、脇のリンパを流す【左】	小テスト実施
第5週	皮膚の構造② 気になる二の腕を細くするマッサージの習得③ 細い指先をつくる 細い二の腕をつくるハンドマッサージ	・皮膚の付属器について理解する ・汗腺・皮脂腺・毛・爪 ・上腕の軽擦、8点プッシュ、手のひら、ストレッチ、脇のリンパを流す【左右】	
第6週	皮膚トラブル① 腕マッサージチェックテスト	・にきびの原因 発生過程 改善法を理解する ・シミの原因 発生過程 改善法を理解する ・腕マッサージの習得度を確認	
第7週	皮膚トラブル② 肩マッサージの習得①	・肌の乾燥の原因 発生過程 改善法を理解する ・アトピー性皮膚炎の原因 発生過程 改善法を理解する ・僧帽筋マッサージの習得 軽擦法 強擦法	
第8週	栄養素について 肩マッサージの習得②	・3大栄養素、ビタミン、ミネラル 基礎代謝 カロリー ・僧帽筋マッサージの習得 切打法 指圧法	小テスト実施
第9週	ホルモンについて 頸部マッサージの習得①	・女性ホルモンについて学ぶ ・頸部マッサージの習得 軽擦法	
第10週	自律神経について 頸部マッサージの習得②	・交感神経 副交感神経の働きを理解する ・頸部マッサージの習得 軽擦法	
第11週	ストレス耐性について フェイシャルセルフマッサージ①	・ストレスとは何か 発生の過程を学びストレスコントロールに役立てる ・正しいクレンジング法について学ぶ	
第12週	女性の身体について フェイシャルセルフマッサージ②	乳腺解剖学を学ぶ 女性器、妊娠、出産 ・顔のむくみ解消のマッサージを習得する	小テスト実施
第13週	カウンセリング 1 フェイシャルセルフマッサージ③	カウンセリングについて学ぶ （ペアになりカウンセリングの方法・注意点を学ぶ） ・顔のたるみ解消のマッサージを習得する	
第14週	カウンセリング 2 各種マッサージの技術チェック	・お客様の悩みを解消するアドバイスを考える ・お客様が納得して実施しようと思えるアドバイスを考える ・各種マッサージの技術チェック	
第15週	筆記試験 総合問題 実技試験 腕 肩 頸部マッサージ	筆記試験 総合問題 実技試験 腕 肩 頸部マッサージ	

教科書	
参考書	適宜プリント配布とする A4のプリントがはさめるファイルを用意する事 各自フェイスタオル4枚用意する事
成績評価	単位認定 60 点以上 15週目筆記試験得点（40点）＋15週目実技試験（30点実技）＋小テスト3回分得点30% 上記にて成績評価とする 期末試験期間中には試験を実施しない
その他	・配布した資料を毎回の授業に必ず持参すること。・爪を短くしておくこと。・クレンジングの練習がある日はメイクをしたうえで授業に参加すること。（ノーメイクだとクレンジングの練習にならないため）
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない） 理論に関しては必ず復習を行ってから受講をする事
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ビューティ探求		担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	金
	トータルビューティ分野（実習）		(時間)	30時間			時限	2
授業の概要	各自がテーマを決めてこれまでに学習した技術の研鑽に努めていく。初回に概要を説明するので興味を持って練習したいこと。又は就職先で求めらる技術や知識を深めていく。							
学習目的	これまで学習してきたことを更に深く研究及び技術の研鑽の務め身につける							
学習目標	第1・2回で決めた目標達成の向け毎回技術や知識を積み重ねていく。自ら探求していく力をつける							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	進行の説明	次回の発表に向けてレジュメや企画書を作成しておく事
第2回	テーマ発表	自分の取り組みたい事等を発表する	
第3回		各自が意欲的に練習を実施する	
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回	中間発表	お互いに進捗を報告する	
第9回		各自が意欲的に練習を実施する	
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回	最終発表		

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上　　制作物提出
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	アロマテラピー		担当者	神崎	学科	ブライダル	開講期	前期
区分	選択科目	選択	単位	2単位	学年	２年	曜日	木
	トータルビューティ分野（実習）		(時間)	60			時限	1.2

授業の概要	授業は座学を中心とする。 理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。 また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。
学習目的	身体への生理作用を理解し、実践に役立つ知識を習得する
学習目標	アロマテラピー検定2級1級合格レベル

授　業　計　画

回	主　題	授　業　内　容	備考
第1回	香りに親しむ	導入・イメージング	色鉛筆
第2回	アロマテラピーのある暮らし	安全の為の注意	
第3回	アロマテラピーのある暮らし	芳香浴法・沐浴法・吸入法	手ぬぐい・洗面器・お湯要
第4回	精油のプロフィール	ジュニパーベリー・ティートリー・オレンジスイート	
第5回	精油の基礎知識	精油とは・芳香物質	
第6回	精油のプロフィール	イランイラン・パチュリ・ベチバー メリッサ・レモングラス	
第7回	精油の基礎知識	精油製造法	ＤＶＤ
第8回	精油のプロフィール	ローズアブソリュート・ローズオットー ジャスミン・ベンゾイン・グレープフルーツ	
第9回	精油の基礎知識	心身に作用する経路・精油の作用	
第10回	精油のプロフィール	ゼラニウム・ユーカリ・ペパーミント・クラリセージ	
第11回	アロマテラピーの歴史	先史時代～古代	
第12回	精油のプロフィール	サンダルウッド・ミルラ・ベンゾイン フランキンセンス・サイプレス	
第13回	アロマテラピーの歴史	中世～近代	
第14回	精油のプロフィール	ローズマリー・ベルガモット・スイートマージョラム ネロリ・ブラックペッパー	ガラス瓶・エタノール・精製水
第15回	アロマテラピーの歴史	現代	
第16回	精油のプロフィール	ラベンダー・レモン	
第17回	アロマテラピーと環境	植物とともに生きてきた私たちの歴史 いま、地球が抱える難題	
第18回	アロマテラピーと環境	一人ひとりができることから ハーブについて	
第19回	アロマテラピ-の楽しみ方	アロマテラピーの基材	
第20回	アロマテラピ-の楽しみ方	アロマテラピーの基材	
第21回	精油のプロフィール	アロマテラピーの学名	
第22回	アロマテラピーに関係する法律	アロマテラピーの法律問題	
第23回	アロマテラピーのメカニズムと健康学	脳のしくみと働き	
第24回	アロマテラピーのメカニズムと健康学	嗅覚の生理メカニズム・大脳辺縁系とアロマテラピー	
第25回	アロマテラピーのメカニズムと健康学	精油成分の薬理作用	
第26回	アロマテラピーでホームケア	ホームケアの活用例	
第27回	アロマテラピーのメカニズムと健康学	アロマテラピーの健康学	
第28回	アロマテラピーのメカニズムと健康学	アロマテラピーの健康学	
第29回	検定対策		
第30回	検定対策	模擬テスト	

教科書	アロマテラピー検定公式テキスト2級1級
参考書	
成績評価	単位認定　60　点以上　期末テスト得点70%＋小テスト5回分得点30%
履修のポイント	出席８０%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダルサロン		担当者	柳瀬	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	1	学年	2	曜日	金
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	披露宴やパーティの計画を行いチーム連携で実行していく過程を学習する。MC実習を行い基本的な進行を理解する。挙式希望のエンドユーザーがあれば希望に添えるようカウンセリングから挙行まで実施する。							
学習目的	計画から実行まで様々な問題を解決しながら立ち向かっていく力をつける。							
学習目標	グループワークを通じて小さな事を積み重ねていく重要性を理解する。1つの事を成し遂げるには多くの人の想いや助けが必要な事を理解する。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ビジョン	何かを成し遂げるために最も必要な事は何か。やりたいという熱い思いが原動力となる	
第2回			
第3回	※詳細後日		
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	イラストデッサン		担当者	吉野	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	月
	ブライダル分野（講義・実習）		（時間）	30時間			時限	1
授業の概要	鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図などデッサンの基本を習得し、人の顔やスタイルなどスケッチ的なスタイル画へと発展させる。 イラストやデザインなど表現・提案するための基礎を学ぶ。							
学習目的	イメージを可視化し提案する基礎技術を習得する。							
学習目標	デッサンの基礎からコーディネートの表現性を高める技術の基礎を担う。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図など	
第2回	デッサン基礎	モチーフを用いて「静物デッサン」を描く。	
第3回	デッサン基礎		
第4回	イラスト・デザイン基礎	「クロッキー」を用いイラストの基本・レイアウトの基本を習得しPOPなどの作成	
第5回	イラスト・デザイン基礎		
第6回	花のアレンジ画	モチーフを用いて静止画を描く。	
第7回	花のアレンジ画		
第8回	スタイル画基礎	「模写」と「トレース」により人の顔のバランス理解する。 また全身のバランスを理解しながら、ドレスなどの描き方を習得する。	
第9回	スタイル画基礎		
第10回	スタイル画基礎		
第11回	会場構図	パースなど理解し立体的な会場空間の描き方などを描く。	
第12回	会場構図		
第13回	卒業制作	課題に沿って作品を完成させる。	
第14回	卒業制作		
第15回	卒業制作		

教科書	公益財団法人　日本理容美容教育センター　ヘアスタイル画によるトータルファッション　2016年7月5日発行 他
参考書	
成績評価	単位認定　　60 点以上　　授業毎の作品と卒業制作の提出により採点する。
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	ブライダル演習		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	1	曜日	火
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	2
授業の概要	ブライダル関連科目を連動し出し合ったアイデアに必要なものをオリジナルで作成する。またセレモニーやパーティの実行に向けて様々な形態で演習を行い完成度をあげていく。披露宴パーティに通じるクリスマスパーティを計画実施。							
学習目的	基本的な所作や制作の方法を身につけ実社会において生かせることができる							
学習目標	簡単な手書きポップが作成できる。店舗の飾り付け（オリジナル作品）ができる。他の科目と連動し挙式の実行の役割が果たせ、全体の流れを確認することができる。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ブライダルサロン	サロンで気持ちよく過ごしてもらうためにはどうすればいいか。何があれば嬉しいか。まずは簡単なペーパーアイテムを作る。	YICサロン・・文字キット（切り抜き・書きうつし）
第2回	ハロウィンに向けて	ブライダル業界人にとって季節感を出す事やイベントを盛り上げる事も求めらる。10月末のハロウィンに向けて準備をする	イラスト用具・紙・マーカーなど・ダンスやパレードの企画等
第3回			
第4回	ブライダルスタッフに求められる所	様々な役割をブライダル業界のスタッフを意識して行動する。案内・言葉掛け・説明・記入などの所作を実行し習得する。	
第5回	テーマ決定・準備	クリスマスパーティを実行する。オリジナルセレモニーやパーティを実行する際必要なものは何かリストアップして準備を進める。 クリスマスパーティ誰に向けて行うか　相談にて決定する。	3チームに分ける
第6回	案内状・進行表の作成	案内状・進行表・プログラム作成を分担して行う。	校内向け OCように案内状は分ける
第7回	リハーサル マイコーナー作り方・見せ方を考える	クリスマスパーティに向けて準備　・進行などのシュミレーションを行う これまで制作したペーパーアイテムや作品その他並べたり展示をしマイコーナーを作る。	必要と考える物を持ってくる(日程変更あり注意　12月中旬予定
第8回	クリスマスパーティ当日	これまで練習し準備してきたことや物を披露し楽しんで頂けるよう最高のおもてなしをする	
第9回	OCにて実行（クリスマスイベント・チャペルコンサート）	オープンキャンパスに実施する。	12月半ば　日程はOC予定日に合わせる
第10回			
第11回	アテンドについて	一歩先をよんで行動する。何をすれば喜んで頂けるかをワークを実施して習得する	チャペル　レポート③
第12回			
第13回	バレンタイン用	愛を伝える形を作る。身近の物を使って喜んで頂けるテクニックやアイデアを学ぶ	
第14回	オリジナルアイディア	オリジナルのアイテムの制作発表・音響・照明・アテンド等の最終確認。お互いにティーチングする	
第15回	まとめの3分スピーチ	これからの私・・・とテーマに3分スピーチをする。ブライダル業界では様々なシーンで話すことリーダーシップをとることが要求される。機会を設け意見交換	チャペル

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　　点以上 制作物の完成度20％％・3回のレポート40％・出席率20％　・スピーチ発表（20％）の総合点60点以上
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	フラワーコーディネイトⅡ		担当者	染川	学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	1	学年	2	曜日	火
	ブライダル分野（実習）		（時間）	30時間			時限	3
授業の概要	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネイトするセンスが問われます。1年時に学習したフラワーアレンジの技術をベースにあらにシーンや個性に合わせ提案できる最新のテクニックを学ぶ実践的授業。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。							
学習目的	シーンやドレスに合ったブーケの提案ができる。イメージに合わせたテーブル装花の提案ができ実践的な場所にて生かしていく。							
学習目標	ブライダルシーンで使用されることの多い花の種類・季節などの基本的な知識の習得。ブーケのスタイルとドレスとのマッチングの提案ができる。アレンジの基本的な技術の習得。							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	卓上装花（テーブル花① ラウンド）	花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習	
第2回	ブーケ①ラウンド（チュールの作り方）	ブーケの種類・ブーケの花材・ドレスとブーケのバランス ブーケの用具・ブーケの制作実習	
第3回	ブートニア（リボンの作り方）	ブートニアの意味・ワイヤリング・テーピングの手法 ブートニアの制作実習	
第4回	和のアレンジ	3回にわたり和の花の種類・テーブルアレンジ等和風の魅力的な見せ方について学ぶ	
第5回			
第6回			
第7回	卓上装花（テーブル花② ホリゾンタル）	テーブル花の種類・卓上装花の制作実習	
第8回	ブーケ②（束ねるブーケ）	ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習	
第9回	メインテーブルのアレンジメント	ウェディングの装花の種類・デモストレーション形式の実習	
第10回	季節の花（春夏秋冬）和のアレンジ	和装ウェディングの実習・水引きを使う	
第11回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーのワイヤリング・テーピングの手法	
第12回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーでブーケの制作実習	
第13回	ウエルカムボード	プリザーブドフラワーでウエルカムボードの制作実習 ブーケのデザイン画・ラフ画実習	
第14回	ウェディング会場を作製	アートフィッシャルフラワーでオリジナルウェディングの制作	
第15回	ウェディング会場を作製	卓上装花・メインテーブル・ブーケ等ウェディング全ての フラワーコーディネイト制作実習	

教科書	検定テキスト
参考書	講師配布資料
成績評価	単位認定 60 点以上 授業中における作品の提出総合評価・フラワー検定受験は必須とする
履修のポイント	出席率80％以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	実務研修	担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目	単位	2	学年	2年	曜日	木
	ブライダル分野	(時間)	60時間			時限	1・2
授業の概要	基本的な案内の方法や正しい敬語、ビジネスの場に求められる立ち振舞いを身につける。ブライダル科で学ぶ集大成として模擬挙式・披露宴を実施。						
学習目的	基本的な挙式を実行することができる。披露宴の計画を立てることができる。						
学習目標	場にふさわしい服装・話し方な・行動がとれる。円滑なチームプレーがとれ業務を遂行することができる。						

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス(イメージの共有)	模擬挙式のオリジナルテーマ・カラーを決める ボードにイメージコンセプトを貼り付け制作。	予算1万円程度
第2回	リストアップ	必要な物・人をリストアップし、調達先・制作を決める。ドレスを決める。	
第3回	役割分担	当日の進行・音響・照明など。事前準備のフラワー制作・会場設営など担当を決め準備を進める。	
第4回	練習①	フラワー・会場設営完了・ペーパーアイテム準備。進行セリフの練習 新婦・ブライズメイズ　衣装とヘアの決定	
第5回	練習②	タイムスケジュールに従って各役割行動する。通し練習。課題を話し合いアイデアを出し解決する。	
第6回	練習③	通し練習。会場への案内も想定し実行する。	
第7回	発表	1時限目に準備・最終リハーサル 2限目に発表と課題反省会	
第8回	披露宴の入場時シーン	245教室を使って入場シーンを行う。音楽の決定。ドアオープンのタイミングを合わせキャプテン先導する。	予算1万円程度
第9回	ケーキカットシーン	ケーキの制作およびケーキ回りのテーブルをコーディネイトする。音楽・スポットの練習・司会コメントを各自作成する	
第10回	乾杯までの練習 余興の決定	今までのシーンを練習する パーティーでの演出のアイデアを出し決定する	
第11回	色直し 余興の練習	色直し(ドレスの決定・ヘアメイクの練習) 前回決めた余興2～3組程度の練習を行う	
第12回	これまでのシーンの練習	色直し後の入場シーンを中心に練習し盛り上げていく方法をみんなで考え実施する。	
第13回	花束贈呈シーン	花束又は記念品の制作。音楽を決める。花嫁の手紙はどうするか・・アイデアを出しまとめていく。	
第14回	通し練習	全員で時間を意識しながら1限でシーンごとの練習。2限で通し練習	
第15回	発表する	披露宴を実施する	

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　60　　点以上　　授業への取り組み・出席状況を総合的に評価
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

平成29年度生シラバス

科目名	リゾートウエディング研修		担当者		学科	ﾌﾞﾗｲﾀﾙ科	開講期	９月
区分	選択科目		単位	1	学年	２年	曜日	集中
	ブライダル分野		(時間)	30時間			時限	
授業の概要	婚礼会場においての現場実習。時期は9月。3～4人のグループにて3日間会場にて研修を行う。挙式会場やパーティ会場の環境整備や会場設営などを通じて幅広くブライダルについて学ぶ。事後学習では学んだことをまとめてレポートして提出する。							
学習目的	様々な形態のウエディングについて幅広い知識をもち対応ができる							
学習目標	現場研修を実施し就職先で活かす事が出来る							

授 業 計 画

回	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ガイダンス	概要の説明 日程の調整 3～4人　のグループを4班作る	7月半ば
第2回	注意事項の確認と連絡	言葉使い・服装確認・挨拶練習	8月初め
第3回	研修1日目：施設見学・働くとはをテーマにお話し・宴会場設営や挙式準備サポートなどを担当者の方の指示に従い行っていく。		
第4回			
第5回			
第6回			
第7回	研修2日目：リゾートウエディング会場の環境整備。清掃などを行いおもてなしの心を形にしていく。結婚式が行わる場合には見学およびお手伝いを追うなう場合もある。		
第8回			
第9回			
第10回			
第11回	研修3日目：前日に引き続き、担当者の方の指示にしたがって実習を行う。		
第12回			
第13回			
第14回			
第15回	事後授業	レポートにまとめ報告する	

教科書	
参考書	
成績評価	単位認定　　点以上　　修了にて評価
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）
オフィス・アワー	授業終了後

YIC京都ビューティ専門学校

2017 ブライダル科 シラバス

発 行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 平成 29 年 4 月 1 日

編 集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。